



茨城県

茨城県景気ウォッチャー調査

(令和4年12月調査分)

《景気の現状判断DI》

	令和4年9月	令和4年12月	前回調査との差
茨城県	46.0	49.3	+3.3
県北地域	47.7	48.2	+0.5
県央地域	44.6	55.2	+10.6
鹿行地域	45.3	49.6	+4.3
県南地域	46.9	47.3	+0.4
県西地域	45.6	46.1	+0.5

《景気の先行き判断DI》

	令和4年9月	令和4年12月	前回調査との差
茨城県	46.3	45.6	△0.7
県北地域	38.9	40.2	+1.3
県央地域	51.8	43.5	△8.3
鹿行地域	45.3	48.2	+2.9
県南地域	47.8	47.3	△0.5
県西地域	47.4	48.7	+1.3

令和5年1月

茨城県政策企画部統計課

目 次

I	調査の概要	1
II	調査結果の概要	3
1	全県の動向	3
	（1）景気の現状判断DI	3
	（2）景気の先行き判断DI	4
2	地域別の動向	5
	（1）景気の現状判断DI	5
	（2）景気の先行き判断DI	8
III	景気の判断コメント	11
1	景気の現状判断コメント	11
2	景気の先行き判断コメント	21
3	その他の意見	31

問合せ先
茨城県統計課企画分析グループ TEL:029-301-2632
公式サイトURL
[https://www.pref.ibaraki.jp/kikaku/tokei/fukyu/tokei/
betsu/bukka/watch/index.html](https://www.pref.ibaraki.jp/kikaku/tokei/fukyu/tokei/betsu/bukka/watch/index.html)

I 調査の概要

1 調査の目的

県内の事業所等において経済の第一線で働いている人々から、景気の現状や景気の先行き判断に関する生の情報を地域ごとに把握するとともに迅速に公表することで、県や市町村のきめ細かな施策立案や経済界におけるタイムリーな景気動向判断等の基礎資料とする。

2 調査の範囲

(1) 対象地域

県下全域を対象とする。また、全域を県北、県央、鹿行、県南及び県西の5地域に区分する。なお、各地域に含まれる市町村は以下のとおりである。

地域	市 町 村
県北地域	日立市、常陸太田市、高萩市、北茨城市、常陸大宮市、大子町
県央地域	水戸市、笠間市、ひたちなか市、那珂市、小美玉市、茨城町、大洗町、城里町、東海村
鹿行地域	鹿嶋市、潮来市、神栖市、行方市、鉾田市
県南地域	土浦市、石岡市、龍ヶ崎市、取手市、牛久市、つくば市、守谷市、稲敷市、かすみがうら市、つくばみらい市、美浦村、阿見町、河内町、利根町
県西地域	古河市、結城市、下妻市、常総市、筑西市、坂東市、桜川市、八千代町、五霞町、境町

(2) 調査客体

家計動向、企業動向及び雇用動向を敏感に反映する業種に従事する者から、(1)で示した地域ごとに60名、計300名を調査客体とする。

業種名	具 体 例	県北地域	県央地域	鹿行地域	県南地域	県西地域	合計
家計関連	小売業、飲食業、サービス業、住宅関連等	37	38	36	36	36	183
企業関連	製造業、建設業、金融業等	19	17	19	19	19	93
雇用関連	人材派遣業、公共職業安定所、求人広告業等	4	5	5	5	5	24
	計	60	60	60	60	60	300

3 有効回答率

地域	調査客体	回答数	回答率
全 県	300 人	285 人	95.0%
県北地域	60 人	56 人	93.3%
県央地域	60 人	58 人	96.7%
鹿行地域	60 人	57 人	95.0%
県南地域	60 人	56 人	93.3%
県西地域	60 人	58 人	96.7%

4 調査事項

- (1) 景気の現状に対する判断 (方向性)
- (2) (1) のコメント (理由)
- (3) 景気の先行きに対する判断 (方向性)
- (4) (3) のコメント (理由)
- (5) その他景気に関する意見 (自由回答)

5 調査月及び調査期間

調査月は6月、9月、12月及び3月の年4回である。令和4年12月調査の調査期間は、令和4年12月5日から20日までである。

6 利用上の注意

- (1) DI (Diffusion Index) は景気の方性 (景気が上向きか下向きか) をみるものであり、景気の水準を判断するものではない。
- (2) ウォッチャーの回答構成比は、小数第1位までの表示とし、表示単位未満の端数は四捨五入した。したがって、構成比の合計は100%とならない場合がある。

※DI(Diffusion Index)について

- 1 景気の現状及び景気の先行きに対する判断の回答区分は、以下のとおり5段階としているが、それぞれに点数化し、これらを各回答区分の構成比 (%) に乗じて、景気の方性をみるための指標 (DI) を算出している。

回答区分	良くなって いる	やや良 くなっている	変わらない	やや悪 くなっている	悪くなっ ている
点数	+1	+0.75	+0.5	+0.25	0

- 2 具体例
回答者数100名で、回答内訳が以下の場合。

良くなって いる	やや良 くなっている	変わらない	やや悪 くなっている	悪くなっ ている
15名	27名	25名	11名	22名

それぞれの回答構成比は、

良くなって いる	やや良 くなっている	変わらない	やや悪 くなっている	悪くなっ ている
15.0%	27.0%	25.0%	11.0%	22.0%

したがって、DI値は、

$$(1点 \times 15.0\%) + (0.75点 \times 27.0\%) + (0.5点 \times 25.0\%) + (0.25点 \times 11.0\%) + (0点 \times 22.0\%) = 50.5 \text{ となる。}$$

この値は、全員が「変わらない」と回答した場合は50 (=0.5点×100%) となることから、50を上回っているときは、景気は上昇局面にあり、50を下回っているときは、景気は下降局面にあるといえる。

II 調査結果の概要

1 全県の動向

(1) 景気の現状判断DI

景気の現状判断DIは49.3となった。令和4年9月調査（以下「前回調査」という。）より3.3ポイント上昇したものの、横ばいを表す50を2期連続で下回った。

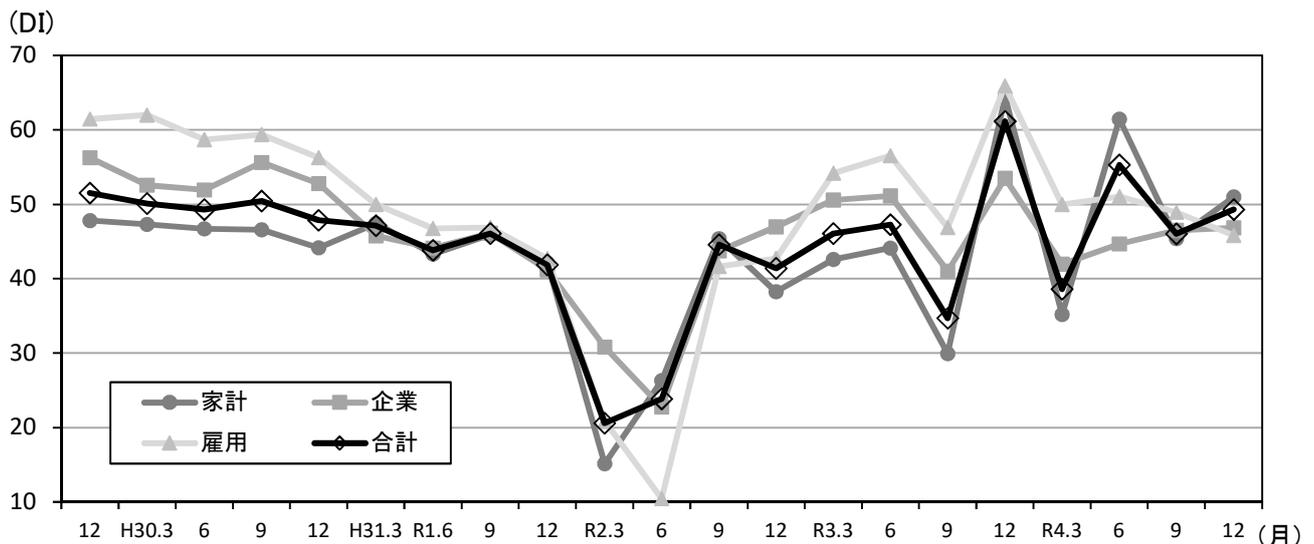
表1-1 景気の現状判断DI

分野	調査年月	令和3年 12月	令和4年 3月	令和4年 6月	令和4年 9月	令和4年 12月
合計		61.2	38.6	55.3	46.0	49.3
家計動向関連		64.4	35.2	61.5	45.4	51.0
小売関連		53.2	33.6	54.9	40.8	44.6
飲食関連		72.7	27.2	68.8	41.3	65.5
サービス関連		75.4	38.5	67.0	51.6	53.0
住宅関連		46.9	40.6	46.9	36.1	50.0
企業動向関連		53.5	42.0	44.7	46.5	46.8
農林水産業		57.1	34.4	34.4	37.5	40.6
製造業		53.1	41.7	43.1	46.3	48.4
非製造業		53.2	44.1	49.3	49.2	46.1
雇用関連		65.9	50.0	51.0	48.9	45.8

表1-2 回答構成比

	令和3年 12月	令和4年 3月	令和4年 6月	令和4年 9月	令和4年 12月
良くなっている	14.4%	3.6%	7.1%	3.2%	4.9%
やや良くなっている	38.8%	15.1%	35.7%	20.9%	24.9%
変わらない	29.5%	30.9%	33.2%	40.8%	39.3%
やや悪くなっている	11.5%	32.7%	19.4%	27.0%	24.2%
悪くなっている	5.8%	17.6%	4.6%	8.2%	6.7%

図1-1 景気の現状判断DIの推移



(2)景気の先行き判断DI

3か月先の景気の先行き判断DIは45.6となった。前回調査より0.7ポイント低下し、横ばいを表す50を2期連続で下回った。

表1-3 景気の先行き判断DI

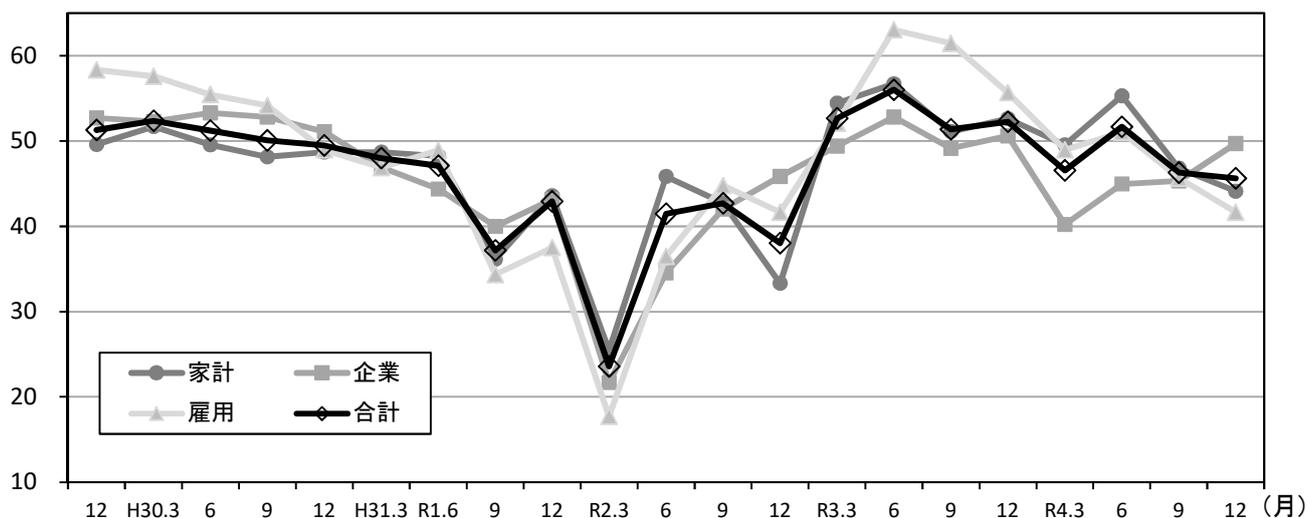
分野	調査年月	令和3年 12月	令和4年 3月	令和4年 6月	令和4年 9月	令和4年 12月
合計		52.2	46.6	51.7	46.3	45.6
家計動向関連		52.6	49.5	55.3	46.8	44.1
小売関連		49.6	48.4	47.0	40.4	41.4
飲食関連		58.0	46.6	71.3	52.5	47.6
サービス関連		54.7	52.1	61.0	51.3	45.9
住宅関連		46.9	43.8	31.3	44.4	41.7
企業動向関連		50.6	40.2	44.9	45.3	49.7
農林水産業		50.0	31.3	28.1	34.4	46.9
製造業		48.4	40.0	46.3	48.4	48.4
非製造業		54.0	42.6	47.1	43.5	52.3
雇用関連		55.7	49.0	51.0	45.7	41.7

表1-4 回答構成比

	令和3年 12月	令和4年 3月	令和4年 6月	令和4年 9月	令和4年 12月
良くなっている	5.0%	2.9%	5.3%	1.1%	1.8%
やや良くなっている	29.5%	25.9%	32.5%	23.0%	18.2%
変わらない	41.7%	36.3%	30.7%	43.6%	47.0%
やや悪くなっている	16.9%	24.5%	26.5%	24.5%	26.7%
悪くなっている	6.8%	10.4%	4.9%	7.8%	6.3%

図1-2 景気の先行き判断DIの推移

(DI)



2 地域別の動向

(1)景気の現状判断DI

① 県北地域

景気の現状判断DIは48.2となった。前回調査より0.5ポイント上昇したものの、横ばいを表す50を2期連続で下回った。

表2-1 景気の現状判断DI

調査年月	令和3年 12月	令和4年 3月	令和4年 6月	令和4年 9月	令和4年 12月
分野					
合計	63.4	39.6	52.3	47.7	48.2
家計動向関連	68.9	41.1	55.3	49.2	52.9
企業動向関連	53.9	37.5	48.5	47.1	44.4
雇用関連	62.5	37.5	43.8	37.5	25.0

表2-2 回答構成比

	令和3年 12月	令和4年 3月	令和4年 6月	令和4年 9月	令和4年 12月
良くなっている	10.7%	1.9%	1.9%	3.7%	1.8%
やや良くなっている	48.2%	17.0%	35.2%	20.4%	30.4%
変わらない	28.6%	32.1%	38.9%	44.4%	33.9%
やや悪くなっている	8.9%	35.8%	18.5%	25.9%	26.8%
悪くなっている	3.6%	13.2%	5.6%	5.6%	7.1%

② 県央地域

景気の現状判断DIは55.2となった。前回調査より10.6ポイント上昇して、横ばいを表す50を2期ぶりに上回った。

表2-3 景気の現状判断DI

調査年月	令和3年 12月	令和4年 3月	令和4年 6月	令和4年 9月	令和4年 12月
分野					
合計	65.4	33.9	56.8	44.6	55.2
家計動向関連	70.5	27.7	63.2	44.6	55.3
企業動向関連	51.8	44.6	42.2	42.9	55.0
雇用関連	62.5	50.0	55.0	50.0	55.0

表2-4 回答構成比

	令和3年 12月	令和4年 3月	令和4年 6月	令和4年 9月	令和4年 12月
良くなっている	19.3%	5.4%	5.1%	3.6%	12.1%
やや良くなっている	40.4%	14.3%	42.4%	17.9%	25.9%
変わらない	26.3%	16.1%	30.5%	41.1%	36.2%
やや悪くなっている	10.5%	39.3%	18.6%	28.6%	22.4%
悪くなっている	3.5%	25.0%	3.4%	8.9%	3.4%

③ 鹿行地域

景気の現状判断DIは49.6となった。前回調査より4.3ポイント上昇したものの、横ばいを表す50を2期連続で下回った。

表2-5 景気の現状判断DI

分野	調査年月	令和3年 12月	令和4年 3月	令和4年 6月	令和4年 9月	令和4年 12月
合計		58.5	41.5	55.7	45.3	49.6
	家計動向関連	60.9	36.0	61.4	41.7	50.7
	企業動向関連	52.9	47.1	44.7	50.0	48.6
	雇用関連	62.5	60.0	60.0	56.3	45.0

表2-6 回答構成比

	令和3年 12月	令和4年 3月	令和4年 6月	令和4年 9月	令和4年 12月
良くなっている	9.4%	5.4%	7.0%	1.7%	3.5%
やや良くなっている	41.5%	16.1%	33.3%	22.4%	21.1%
変わらない	26.4%	26.8%	36.8%	36.2%	49.1%
やや悪くなっている	18.9%	42.9%	21.1%	34.5%	22.8%
悪くなっている	3.8%	8.9%	1.8%	5.2%	3.5%

④ 県南地域

景気の現状判断DIは47.3となった。前回調査より0.4ポイント上昇したものの、横ばいを表す50を2期連続で下回った。

表2-7 景気の現状判断DI

分野	調査年月	令和3年 12月	令和4年 3月	令和4年 6月	令和4年 9月	令和4年 12月
合計		61.2	39.3	59.4	46.9	47.3
	家計動向関連	62.9	38.3	66.7	47.0	49.3
	企業動向関連	55.6	39.5	50.0	46.1	45.6
	雇用関連	70.0	45.0	45.0	50.0	40.0

表2-8 回答構成比

	令和3年 12月	令和4年 3月	令和4年 6月	令和4年 9月	令和4年 12月
良くなっている	21.4%	3.6%	16.1%	5.3%	7.1%
やや良くなっている	30.4%	14.3%	28.6%	19.3%	19.6%
変わらない	28.6%	37.5%	33.9%	40.4%	35.7%
やや悪くなっている	10.7%	25.0%	19.6%	28.1%	30.4%
悪くなっている	8.9%	19.6%	1.8%	7.0%	7.1%

⑤ 県西地域

景気の現状判断DIは46.1となった。前回調査より0.5ポイント上昇したものの、横ばいを表す50を2期連続で下回った。

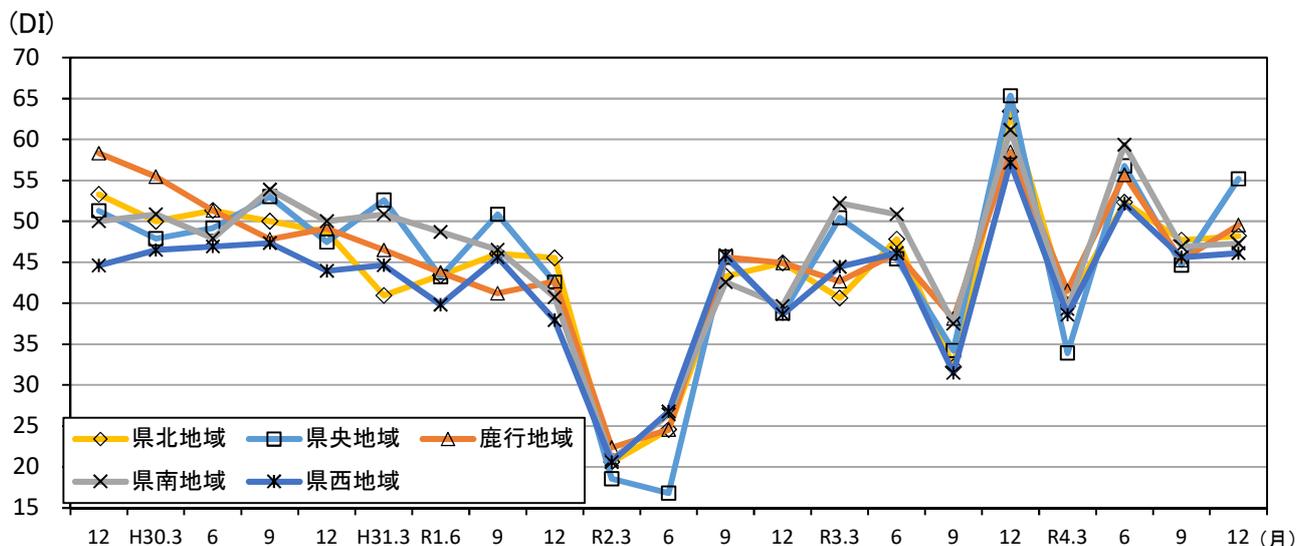
表2-9 景気の現状判断DI

分野	調査年月	令和3年 12月	令和4年 3月	令和4年 6月	令和4年 9月	令和4年 12月
合計		57.1	38.6	52.2	45.6	46.1
	家計動向関連	57.6	34.1	60.6	44.9	46.3
	企業動向関連	52.8	42.1	38.2	45.8	42.1
	雇用関連	70.0	55.0	50.0	50.0	60.0

表2-10 回答構成比

	令和3年 12月	令和4年 3月	令和4年 6月	令和4年 9月	令和4年 12月
良くなっている	10.7%	1.8%	5.3%	1.8%	0.0%
やや良くなっている	33.9%	14.0%	38.6%	24.6%	27.6%
変わらない	37.5%	42.1%	26.3%	42.1%	41.4%
やや悪くなっている	8.9%	21.1%	19.3%	17.5%	19.0%
悪くなっている	8.9%	21.1%	10.5%	14.0%	12.1%

図2-1 地域別現状判断DIの推移



	H29.12	H30.3	H30.6	H30.9	H30.12	H31.3	R1.6	R1.9	R1.12	R2.3	R2.6	R2.9	R2.12	R3.3	R3.6	R3.9	R3.12	R4.3	R4.6	R4.9月	R4.12月
県全体	51.5	50.1	49.3	50.4	47.8	47.1	43.8	46.1	41.9	20.6	23.8	44.6	41.4	46.1	47.3	34.7	61.2	38.6	55.3	46.0	49.3
県北	53.3	50.0	51.3	50.0	48.7	40.9	43.4	46.1	45.5	20.6	24.6	43.3	44.9	40.8	47.8	32.2	63.4	39.6	52.3	47.7	48.2
県央	51.3	47.9	49.2	53.0	47.5	52.6	43.2	50.9	42.5	18.5	16.8	45.6	38.8	50.5	45.4	34.2	65.4	33.9	56.8	44.6	55.2
鹿行	58.3	55.5	51.3	47.8	49.1	46.5	43.8	41.2	42.7	22.4	24.6	45.6	44.9	42.7	46.1	38.1	58.5	41.5	55.7	45.3	49.6
県南	50.0	50.9	47.9	53.9	50.0	50.9	48.7	46.6	40.7	20.9	26.4	42.5	39.7	52.2	50.9	37.5	61.2	39.3	59.4	46.9	47.3
県西	44.6	46.5	46.9	47.4	44.0	44.6	39.8	45.6	37.9	20.6	26.8	45.8	38.7	44.4	46.1	31.5	57.1	38.6	52.2	45.6	46.1
全国	52.2	50.4	49.5	47.3	46.5	45.6	44.6	45.0	39.1	14.7	39.0	47.7	35.3	48.5	46.5	42.3	57.5	47.8	52.9	48.4	47.9(季節調整値)
	53.9	51.7	48.2	47.3	48.2	46.7	43.3	45.7	40.7	15.9	38.0	48.7	36.5	49.5	45.4	43.3	58.6	48.9	51.8	49.6	49.0(原数値)

(2)景気の先行き判断DI

① 県北地域

景気の先行き判断DIは40.2となった。前回調査より1.3ポイント上昇したものの、横ばいを表す50を2期連続で下回った。

表2-11 景気の先行き判断DI

分野	調査年月	令和3年 12月	令和4年 3月	令和4年 6月	令和4年 9月	令和4年 12月
合計		50.0	43.9	50.5	38.9	40.2
	家計動向関連	53.8	46.0	51.5	38.6	42.6
	企業動向関連	43.4	37.5	50.0	39.7	37.5
	雇用関連	50.0	56.3	43.8	37.5	31.3

表2-12 回答構成比

	令和3年 12月	令和4年 3月	令和4年 6月	令和4年 9月	令和4年 12月
良くなっている	3.6%	0.0%	7.4%	0.0%	0.0%
やや良くなっている	30.4%	26.4%	33.3%	16.7%	19.6%
変わらない	37.5%	32.1%	20.4%	35.2%	37.5%
やや悪くなっている	19.6%	32.1%	31.5%	35.2%	26.8%
悪くなっている	8.9%	9.4%	7.4%	13.0%	16.1%

② 県央地域

景気の先行き判断DIは43.5となった。前回調査より8.3ポイント低下して、横ばいを表す50を2期ぶりに下回った。

表2-13 景気の先行き判断DI

分野	調査年月	令和3年 12月	令和4年 3月	令和4年 6月	令和4年 9月	令和4年 12月
合計		55.3	49.1	58.5	51.8	43.5
	家計動向関連	56.4	52.7	62.5	52.7	42.1
	企業動向関連	50.0	42.9	50.0	50.0	55.4
	雇用関連	62.5	40.0	55.0	50.0	30.0

表2-14 回答構成比

	令和3年 12月	令和4年 3月	令和4年 6月	令和4年 9月	令和4年 12月
良くなっている	12.3%	1.8%	5.1%	0.0%	0.0%
やや良くなっている	28.1%	28.6%	44.1%	33.9%	13.8%
変わらない	35.1%	46.4%	32.2%	41.1%	50.0%
やや悪くなっている	17.5%	10.7%	16.9%	23.2%	32.8%
悪くなっている	7.0%	12.5%	1.7%	1.8%	3.4%

③ 鹿行地域

景気の先行き判断DIは48.2となった。前回調査より2.9ポイント上昇したものの、横ばいを表す50を2期連続で下回った。

表2-15 景気の先行き判断DI

調査年月	令和3年 12月	令和4年 3月	令和4年 6月	令和4年 9月	令和4年 12月
分野					
合計	50.5	49.1	50.9	45.3	48.2
家計動向関連	48.4	50.0	52.3	45.1	43.4
企業動向関連	55.9	44.1	44.7	45.8	59.7
雇用関連	43.8	60.0	65.0	43.8	40.0

表2-16 回答構成比

	令和3年 12月	令和4年 3月	令和4年 6月	令和4年 9月	令和4年 12月
良くなっている	0.0%	7.1%	1.8%	0.0%	1.8%
やや良くなっている	28.3%	26.8%	35.1%	19.0%	21.1%
変わらない	47.2%	28.6%	29.8%	51.7%	49.1%
やや悪くなっている	22.6%	30.4%	31.6%	20.7%	24.6%
悪くなっている	1.9%	7.1%	1.8%	8.6%	3.5%

④ 県南地域

景気の先行き判断DIは47.3となった。前回調査より0.5ポイント低下して、横ばいを表す50を2期連続で下回った。

表2-17 景気の先行き判断DI

調査年月	令和3年 12月	令和4年 3月	令和4年 6月	令和4年 9月	令和4年 12月
分野					
合計	55.4	47.3	53.6	47.8	47.3
家計動向関連	56.1	52.3	61.4	49.2	44.9
企業動向関連	52.8	39.5	44.4	46.1	52.9
雇用関連	60.0	45.0	35.0	45.0	45.0

表2-18 回答構成比

	令和3年 12月	令和4年 3月	令和4年 6月	令和4年 9月	令和4年 12月
良くなっている	7.1%	5.4%	12.5%	1.8%	5.4%
やや良くなっている	35.7%	25.0%	21.4%	21.1%	10.7%
変わらない	37.5%	30.4%	37.5%	50.9%	55.4%
やや悪くなっている	10.7%	32.1%	25.0%	19.3%	25.0%
悪くなっている	8.9%	7.1%	3.6%	7.0%	3.6%

⑤ 県西地域

景気の先行き判断DIは48.7となった。前回調査より1.3ポイント上昇したものの、横ばいを表す50を4期連続で下回った。

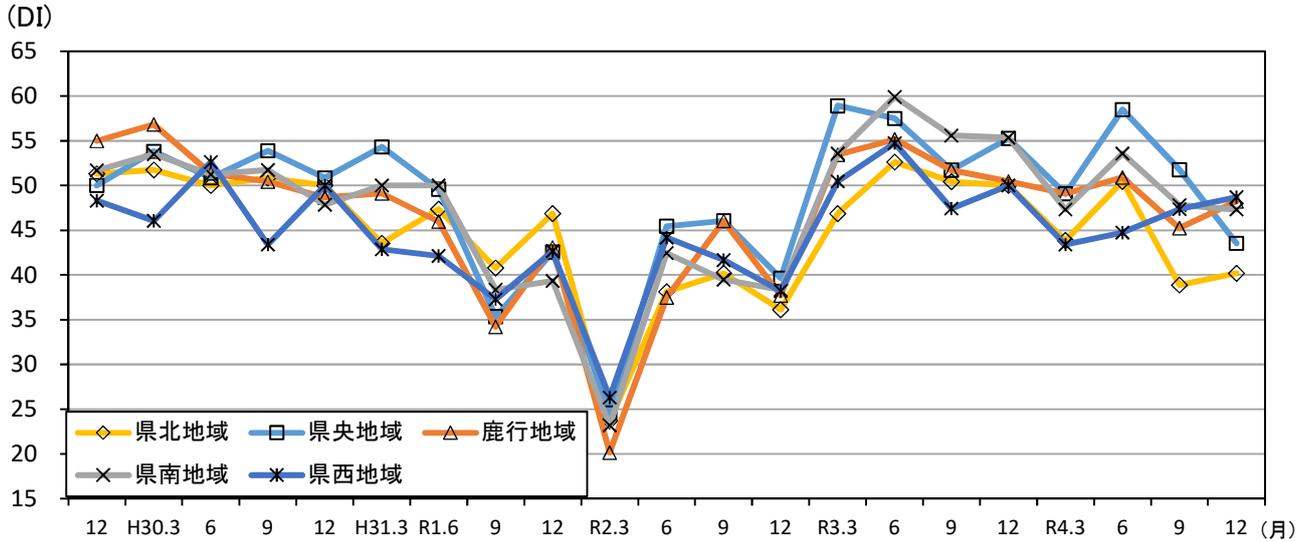
表2-19 景気の先行き判断DI

分野	調査年月	令和3年 12月	令和4年 3月	令和4年 6月	令和4年 9月	令和4年 12月
合計		50.0	43.4	44.7	47.4	48.7
家計動向関連		47.7	46.2	47.7	47.8	47.8
企業動向関連		51.4	38.2	36.8	45.8	47.4
雇用関連		60.0	45.0	55.0	50.0	60.0

表2-20 回答構成比

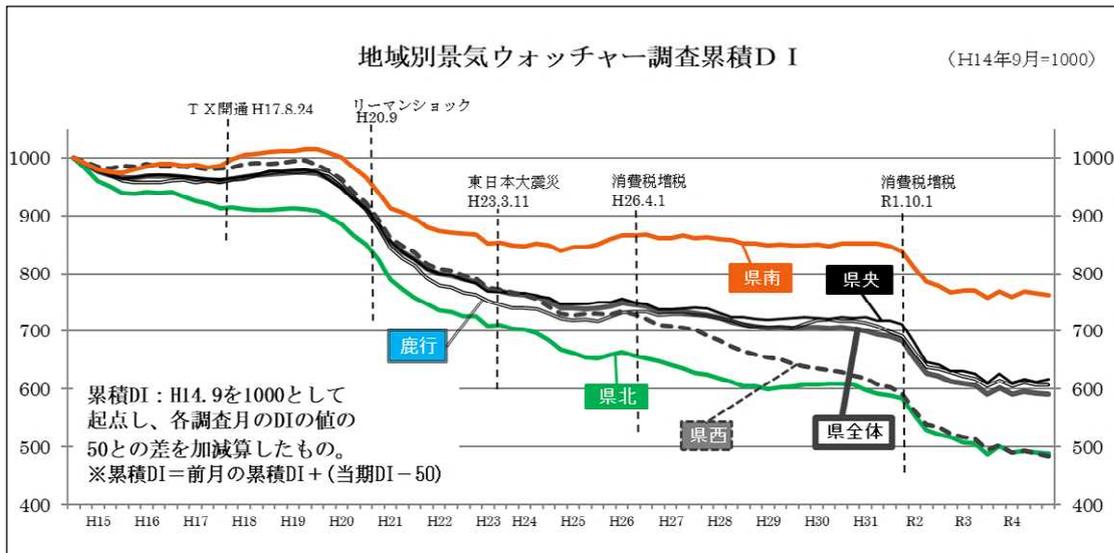
	令和3年 12月	令和4年 3月	令和4年 6月	令和4年 9月	令和4年 12月
良くなっている	1.8%	0.0%	0.0%	3.5%	1.7%
やや良くなっている	25.0%	22.8%	28.1%	24.6%	25.9%
変わらない	51.8%	43.9%	33.3%	38.6%	43.1%
やや悪くなっている	14.3%	17.5%	28.1%	24.6%	24.1%
悪くなっている	7.1%	15.8%	10.5%	8.8%	5.2%

図2-2 地域別先行き判断DIの推移



	H29.12	H30.3	H30.6	H30.9	H30.12	H31.3	R1.6	R1.9	R1.12	R2.3	R2.6	R2.9	R2.12	R3.3	R3.6	R3.9	R3.12	R4.3	R4.6	R4.9月	R4.12月
県全体	51.3	52.4	51.2	50.1	49.5	48.0	47.1	37.2	42.9	23.6	41.5	42.7	38.0	52.7	56.0	51.4	52.2	46.6	51.7	46.3	45.6
県北	51.3	51.8	50.0	50.9	50.0	43.5	47.4	40.8	46.9	23.7	38.1	40.2	36.1	47.4	52.6	50.4	50.0	43.9	50.5	38.9	40.2
県央	50.0	53.8	50.8	53.9	50.8	54.3	49.6	35.3	42.5	24.6	45.5	46.1	39.7	58.6	57.5	51.8	55.3	49.1	58.5	51.8	43.5
鹿行	55.0	56.8	51.3	50.4	48.7	49.1	46.0	34.2	43.1	20.2	37.5	46.1	37.7	53.4	55.2	51.7	50.5	49.1	50.9	45.3	48.2
県南	51.7	53.5	51.3	51.7	47.8	50.0	50.0	38.4	39.4	23.2	42.5	39.5	38.4	53.6	59.9	55.6	55.4	47.3	53.6	47.8	47.3
県西	48.3	46.1	52.6	43.4	50.0	42.9	42.1	37.3	42.7	26.3	44.2	41.7	38.2	50.5	54.7	47.4	50.0	43.4	44.7	47.4	48.7
全国	52.0 51.3	50.9 50.1	50.1 50.9	51.1 50.7	47.7 47.0	49.2 47.9	45.3 46.3	36.8 36.7	45.3 44.5	20.1 18.7	43.5 44.8	47.1 47.1	36.9 36.1	50.2 48.6	51.1 52.6	56.6 56.7	50.3 49.5	50.1 48.4	47.6 49.2	49.2 49.3	47.0(季節調整値) 46.3(原数値)

(参考) 地域別累積DI



III 景気の判断コメント — 1 景気の現状判断コメント

(1) 県北地域 【現状】

回答	分野	業種・職種	コメント
良	家計	ゴルフ場	飲食店関係は忙しい話を耳にするため、良くなっていると判断した。
やや良くなっている	家計	スーパー	食品などの様々な商品の値上げがあるが、その割に点数が伸び、売上げが伸びている(値上げによる客単価増)ため、やや良くなっていると判断した。
		コンビニエンスストア	近隣のコンビニが閉店したため売上げが増えているのでやや良くなっていると判断したが、地域としてはパワーがなくなっている。
		小売業(食料品)	年末でもあるが、コロナ禍緩和で人の動きが出てきたため、やや良くなっていると判断した。
		小売業(食料品)	やや良くなっていると判断した。個人・法人ともに売上げは、コロナ禍以前に回復への兆しが見え始めた気がするが、依然として同じような消費行動を行うとは思えない中、新規の顧客などが増加傾向にあるが、価格改定の影響も大きい。ただし、11月の後半から感染者数の増加等の要因で停滞気味になりつつある。
		小売業(弁当・惣菜店)	イベントのような団体での消費は相変わらず少ないが、個人の消費は日々の売上げからも堅調と感じているため、やや良くなっていると判断した。
		小売業(水産物)	観光客、観光バスの増加により、やや良くなっていると判断した。
		観光型ホテル	宿泊や日帰り宴会利用の客が以前よりも増えてきたため、やや良くなっていると判断した。
		タクシー運転手	昼間の外出者が増えた。夜の飲食店も動きが出ているため、やや良くなっていると判断した。
		ゴルフ場	全国旅行支援を使った宿泊客が増加し、ゴルフプレー、コンパ開催件数も微増しているため、やや良くなっていると判断した。
		ゴルフ場	トップシーズンでもあり、天候も穏やかなので来場者が多いと思うため、やや良くなっていると判断した。
	設計事務所	仕事の問合せが多少増えた気がするため、やや良くなっていると判断した。ただし、実際には仕事に結びつかない。	
	企業	水産業関係者	3か月前と比べ、買控え的な雰囲気が少なくなったように感じたため、やや良くなっていると判断した。
		製造業(化学工業)	受注量が増加傾向にあるため、やや良くなっていると判断した。
		製造業(電気機械器具)	12月中旬、2023年1月以降の作業量は9月と対比して約2~3割上がっている。全体平均では約1~1.5割上昇しているため、やや良くなっていると判断した。
製造業(電気機械器具)		液晶・半導体製造装置関連において、受注が前回より増えてきたため、仕事を別部門にシフトしているため、やや良くなっていると判断した。	
製造業(電気機械器具)		12月にかけて生産数、売上げが増となるため、やや良くなっていると判断した。	
変わらない	家計	製造業(精密機器)	受注残高はほぼ変わらないが、支給品の納入状況が改善されてきたため、やや良くなっていると判断した。
		スーパー	10月に物価が大きく上昇し、買控えの影響を受けたが、12月に入り多少は戻る兆しが見えてきた。トータルで考えると変わらないか微減といった状況である。
		衣料品販売店	昨年度と変わらない。2019年以前の売上高には戻らない。今後は、新しい売上げの方法などを求める努力を行う必要があると思う。
		小売業(酒類)	悪い状況は変わらないと思う。物価上昇、新型コロナウイルス、エネルギー確保など厳しい状況である。
		小売業(時計)	客数が増加しないため、変わらないと判断した。
		スナック	店を開けても客が来ないため、変わらないと判断する。
観光型ホテル	新型コロナウイルスの動向がまだ明確ではなく不安があるため、変わらないと判断した。		

変わらない	家計	観光型ホテル	宿泊補助事業である「全国割」により、コロナ禍前と比較すると同等位で推移しているため、変わらないと判断した。3か月前と比較すると一人当たりの消費単価が下がっている。
		タクシー運転手	物価の上昇、新型コロナウイルスの影響で、まだまだ上向きにならないと、客の様子からも伺えるため、変わらないと判断した。
		タクシー運転手	変化は感じられないため、変わらないと判断した。
		ゴルフ場	外出する機会が多くなったように見受けられるが、物価上昇のため、変わらないと判断した。
		ボウリング場	会社関係の予約がまったく入らないため、変わらないと判断した。
		写真店	引き続き予約件数の増減に変化もなく、客単価も厳しい状況は変わらない。客も大体の予算が決まっている印象。
	企業	製造業（精密機器）	売上げ等があまり変わらないため、変わらないと判断した。
		建設業	様々なコストが上昇している状況ながら、客から設備投資を控えるという話はあまり聞かないので、景気は変わらないと判断した。
		建設業	売上げは物価上昇によって上がっているくらいで、他は特に3か月前と比較しても変化は見当たらない。
		金融業	新型コロナウイルス感染者増加の影響や、円安による原材料の高騰、ウクライナ情勢の影響など地域の中小企業を取り巻く環境も依然として厳しい状況のため、変わらないと判断した。原材料や燃料高騰分を価格転嫁出来ていない事業者もいる。また、飲食業においては、新型コロナウイルスに加え、支援金打ち切りの影響も出てきている。
非製造業（その他）		受発注の金額・量が昨年度と同程度の見込みのため、変わらないと判断した。	
雇用	公共職業安定所	対前年同期よりは良くなっているが、3か月前と比べると、有効求人倍率は横ばいである。	
やや悪くなっている	家計	商店街代表者	コロナ禍、戦争、物価高、不安心理などのため、やや悪くなっていると判断した。
		コンビニエンスストア	季節、天候によるため、やや悪くなっていると判断した。
		小売業（食料品）	光熱費、資材等が、値上がりし、利益率が下がっているため、やや悪くなっていると判断した。
		自動車販売店	物価高騰により消費活動が鈍くなってきたため、やや悪くなっていると判断した。
		レストラン	10月からの値上げ商品の増加による影響が大きい。売上げ、客単価は値上げの増に伴い、昨年同月と比べて上がってはいるが、3か月前と比較すると買控えが増えているため、やや悪くなっていると判断した。新型コロナウイルスの影響は特に受けてはいない。
		日本料理店	11月まで増加していた客の動きが、12月に入ってから大幅に減少してきている。新型コロナウイルスが急増して、身の回り、同業者でも休業している店もある。年越しそばの予約も少ないため、やや悪くなっていると判断した。
		ドライブイン	3か月前と比べ、売上高113%、客単価109%と上がったが、客数は98%のため物品の価格上昇によるものであり、前年同時期との比較だと売上92%、客数88%だったため、やや悪くなっていると判断した。
		レジャー施設	物価高の影響による買控えや光熱水費の節約を多く目にするため、やや悪くなっていると判断した。
		美容室	物価高で財布の紐が固くなっていると思うので、やや悪くなっていると判断した。
	企業	林業関係者	林業界にとっては生産、販売、価格ともいい時期のはずが、製品の出荷及び素材の価格も下がり気味なため、やや悪くなっていると判断した。
製造業（金属製品）		取引先へ状況を聞くと、11月頃から暇になっている会社が多いため、やや悪くなっていると判断した。	
製造業（電気機械器具）		受注に変わりはなく景気悪化と感じない所はあるものの、電気代の高騰で支出が多いため、やや悪くなっていると判断した。	
製造業（その他）		円安ドル高の影響が現れ始め、次第に強くなってきている。会社はスマートフォン部品供給を主力とした電気部品製造会社であるが、円安によって価格が跳ね上がり、国内需要が鈍化している。更に中国のゼロコロナ政策によりスマホ工場が閉鎖されるなど追い打ちがかかっている。資材もほぼ全て値上がりするなど悪い方向に向かい始めているため、やや悪くなっていると判断した。	
雇用	学校就業関係者	業者との会話や、見積価格の上昇により、やや悪くなっていると判断した。	
	求人開拓員	県全体の9月有効求人倍率1.48倍に対し、当所管内は1.26倍と倍率は低い状況が続く。また、当所への求職者数（相談者数）も、12月に入ったからか少なくなっているため、やや悪くなっていると判断した。	
悪くなっている	企業	製造業（食料品）	資材高騰、電気料金、重油等エネルギー費高騰による買控え、粗利の低下が顕著なため、悪くなっていると判断した。
		製造業（電気機械器具）	食品や消耗品の値段が徐々に上がってきているので、悪くなっていると判断した。
	不動産業	物価値上がりの影響もあるのか、無理していい部屋に引っ越しする人は少なくなっているため、悪くなっていると判断した。	
雇用	求人広告	コロナ情勢が続く中で物価の高騰、最低賃金の上昇などにより厳しさは増しているため、悪くなっていると判断した。	

(2) 県央地域 【現状】

回答	分野	業種・職種	コメント
良くなっている	家計	酒・各種商品小売業	新型コロナウイルスの感染者は増えているが、行動制限がないし、旅行割引もあり観光客も多くなったため、良くなっていると判断した。
		割烹料理店	新型コロナウイルスの第7波が落ち着いてきたので、集まりなどが増え、仕事が増えてきたため、良くなっていると判断した。
		割烹料理店	飲食業ということもあり、この時期は忙しくなってきたため、良くなっていると判断した。
		都市型ホテル	秋の旅行シーズンという事に加え、全国旅行支援や法人の団体需要の回復が顕著にみられたため、良くなっていると判断した。
	企業	製造業（窯業・土石製品）	新型コロナウイルスで受注が減少していたが、10月ごろから受注が増加してきたため、良くなっていると判断した。
		運輸業	徐々に、顧客製品の出荷台数も増えてきているため、良くなっていると判断した。今後も良くなる見通しである。
	雇用	公共職業安定所	有効求人数が前年同月比11か月連続で、プラスとなっていて、有効求人倍率が前年同月比16か月連続で、プラスとなっているため、良くなっていると判断した。
やや良くなっている	家計	商店街代表者	営業するための対象物件が増えてきているため、やや良くなっていると判断した。
		スーパー	プレミアム商品券等が利用開始となり、3か月前と比較して、少しずつ景気が上向いていると思うため、やや良くなっていると判断した。新型コロナウイルスの感染者が増えている事が気がかりではある。
		コンビニエンスストア	売上げが伸長しているため、やや良くなっていると判断した。
		楽器販売	来店客数、売上げ共、昨年比に比べ上昇しているため、やや良くなっていると判断した。
		日本料理店	Go to トラベル等が開始され、外出する人が増えており来客が増えてきているので、やや良くなっていると判断した。
		食堂	直近の3年間での統計をみると、客数が増加してきているため、やや良くなっていると判断した。
		タクシー運転手	売上げについて、先月と3か月前の前年比を比べると、先月の前年比の伸び率が良くなっているため、景気はやや良くなっていると判断した。
		レジャー施設	3か月前と比較し、給油販売の売上げが上がった。新型コロナウイルスの感染対策の緩和でイベントができるようになり、その後も活気が戻ってきた感じがするため、やや良くなっていると判断した。
		スーパー銭湯	価格転換をしたが客数が増えたため、やや良くなっていると判断した。
	住宅販売会社	年末にかけ建築需要が出てきたため、やや良くなっていると判断した。	
	企業	製造業（食料品）	新型コロナウイルスの第7波収束後、受注がある程度増加したため、やや良くなっていると判断した。
		製造業（印刷・同関連業）	売上げ実績の数字から、やや良くなっていると判断した。
		製造業（一般機械器具）	建設機械部品製作は非常に忙しいため、やや良くなっていると判断した。しかし、自動車部品製作は半導体不足の影響が続いており低調である。
		製造業（精密機器）	売上げが増えているため、やや良くなっていると判断した。
雇用	人材派遣業	人手不足により受注が増えているため、やや良くなっていると判断した。	
変わらない	家計	スーパー	店舗の売上げは伸びているが、チラシ価格により来客数に差がある。プライマイゼロだと思わないので、変わらないと判断した。
		スーパー	売上げが伸び悩んでいるので、厳しい状況は変わらない。
		コンビニエンスストア	観光等外出需要について、前年と比べれば好転しているが、3か月前とは大きな変化がない。
		自動車販売店	客の動向はほぼ変化なし。半導体不足、新型コロナウイルスの影響がまだあるため、しばらくは横ばいが続くと思われる。
		都市型ホテル	今現在は大きな変化はないように見受けられる。宿泊、レストランは3か月前と同等に予約も入っている。忘年会予約は、若干下がってきて昨年より下回っているが、変わらないと判断した。
		観光型ホテル	客の予約動向や消費単価において同水準で動いているため、変わらないと判断した。
		旅行代理店	コロナ禍でも経済活動は盛んになってきたが、物価の上昇が景気回復機運を妨げていると思うため、変わらないと判断した。
		旅行会社	バスの燃料の高騰により、大変になっている状況がそのままのため、変わらないと判断した。
		バス運転手	新型コロナウイルスのまん延状況は一息ついているところだが、物価上昇局面にあり、閉塞感が拭いきれていないため、変わらないと判断した。
		タクシー会社	営業回数、売上げ等特に変化が見られないため、変わらないと判断した。
		レジャー施設	新型コロナウイルスの第8波により、陽性者数の高止まりが続き、外部環境の改善が見られない。インフルエンザの流行も懸念されているため、変わらないと判断した。
		ゴルフ場	ゴルフ業界は、新型コロナウイルスの感染リスクの少ない屋外でのレジャーとして利用が高まっている。しかしながら、水光熱や原材料の仕入れが高騰しており、景気が良くなっているとは考えられないため、変わらないと判断した。
		ボウリング場	前年比と変わらない。
		理・美容店	3か月前と変わらないが、年末でもあり、今年はイベント事も復活しているため少し忙しくなっている。

変わらない	企業	製造業（輸送用機械器具）	円安基調が少し落ち着き、売上げも徐々にではあるが回復傾向にある。しかしながら、原油価格や材料市況の高騰、高値継続と、依然として半導体の供給不足や値上げの中、顧客への売価転嫁が思うように進んでおらず、収益を圧迫している状況にあるため、変わらないと判断した。
		運輸業（道路貨物運送業）	為替が安定しないため、輸出入の貨物が足踏みをしているように感じられ、貨物の動きも活発となっていないため、変わらないと判断した。
		金融業	3か月前同様に、これまでの物価上昇の影響もあり景気回復には至っていないと思われる。中心街においても依然として、飲食関連業種は停滞し厳しい状況が続いており、行動制限の緩和が行われたとはいえ、消費意欲は低迷していると感じるため、変わらないと判断した。
		不動産業	販売中の分譲マンションは、例年通りの売れ行きとなっている。注文住宅については、ウッドショック・半導体不足からくる材料費の値上がりもあり、値上がり分を顧客が吸収しきれない様子が目に付くため、変わらないと判断した。
		情報通信業（情報サービス業）	物価高の影響は業務的にはまだ感じられないため、変わらないと判断した。
雇用	求人広告	物価高からの仕入れ高で事業投資ができないため、変わらないと判断した。	
やや悪くなっている	家計	小売業	今月は、お歳暮/クリスマスギフトの実需の月であり、需要喚起に向けての全館催事に対応している。シニア層も回復傾向にあるが、行政施策によるトラベルと外向き需要の活性化により、モノ/コト消費の県外流出が顕著である。物価上昇に伴う生活防衛・消費減退も一部で進行し、入店客数は前年未達である。売上高も前年比と3か月前(9月)の前年比を比べると進捗状況が悪化していることから、景気はやや悪くなっていると判断する。
		スーパー	3か月前も悪くなっていると回答したが、その状態から全く変わっていない。物価高、さらには新型コロナウイルス感染のため自宅待機、その人員不足分を補うためのカバー。客からも、色々なスーパーを回って家計をカバーしていると聞くため、やや悪くなっていると判断した。
		小売業	様々な物が値上がりしてきていることにより、買控えている感じがあり、3か月前に比べて客足が鈍くなってきているため、やや悪くなっていると判断した。
		農産物直売所	売れ筋ギフトの価格帯が安い方へスライドしているため、やや悪くなっていると判断した。宅配でギフトを送る件数は変わっていない。
		タクシー会社	景気の動向を考慮して厳しい状態が続くと判断した。物価高騰等が続き、特に燃料費高騰は、企業運営や一般家庭に打撃を与えている。物流コストも値上傾向にあり、経費削減・消費減少により会社経営が厳しい状況にあるものと考えられる。
		観光名所	3か月前と比較すると来場者数・売上げが減少しているため、景気はやや悪くなっていると判断した。
		写真店	新型コロナウイルスの影響で、縮小や中止の仕事がまだ多くあるため、やや悪くなっていると判断した。
		設計事務所	徐々に業界の年末懇親会が、人数制限にて開催された。酒を飲む参加者が少ない静かな懇親会で交わされる話は嘆き節が多く、業界の景気を反映しているなと感じたため、やや悪くなっていると判断した。
		農業関係者	世界情勢が悪くなり、食料品、資材、燃料等の高騰により、生活が悪くなっているため、やや悪くなっていると判断した。
		企業	建設業
雇用	学校就業関係者	日用品の値上げや、光熱費の高騰も続いているため、やや悪くなっていると判断した。	
	求人開拓員	当所利用の求職者数は特段の変化は見られないが、求人数に減少傾向が見られる。業種としては建設業、宿泊・飲食業、生活サービス・娯楽で減少傾向が見られるため、やや悪くなっていると判断した。	
悪	家計	道の駅	新型コロナウイルスの第8波がやってきているので雰囲気が悪い。水道光熱費やあらゆるものが値上げされていて、消費意欲がなくなっている（節約も）。また、インボイス制度や65歳まで年金支払いなど、金がかかるニュースばかりが流れていて先行きは暗いため、悪くなっていると判断した。
		企業	製造業(精密機械器具)

(3) 鹿行地域 【現状】

回答	分野	業種・職種	コメント
良	家計	コンビニエンスストア	小売店の来店客数は減少しているが、1人あたりが購入する単価が上がっており、売上げは好調であるため、良くなっていると判断した。
	雇用	民間職業紹介業	受注数も増えてきており、自動車関連会社も好転してきているため、良くなっていると判断した。
やや良くなっている	家計	和食レストラン	鹿行地区各店舗の来店客数、売上げ、営業利益ともに増加しているため、やや良くなっていると判断した。
		洋食食堂	来客数、売上げ等が増えているため、やや良くなっていると判断した。
		海鮮料理店	10月、11月に数台観光バスの団体客の予約が入ったため、やや良くなっていると判断した。
		観光型ホテル	いば旅あんしん割の影響か、やや良くなっていると判断した。
		運転代行	他の月に比べて、利用者が増えている。売上げについては、3か月前と比較して伸び率が良くなっているため、景気はやや良くなっていると判断した。
		旅行代理店	全国旅行支援割引が始まり、客の購買意欲が出てきているため、やや良くなっていると判断した。
		道の駅	個人利用者の全国旅行支援のクーポン券利用が多いため、やや良くなっていると判断した。
		ゴルフ場	以前に比べ高い金額での利用が多くなってきているため、やや良くなっていると判断した。
企業	製造業（金属製品）	新型コロナウイルスの感染対策等のカウント方式の変更と、経済効果拡大対策など、景気向上に対する考え方が変わり、人の動きも多くなったため、やや良くなっていると判断した。	
	建設業	以前に比べて受注の状況が改善しているため、やや良くなっていると判断した。	
	運輸業（道路貨物運送業）	客による受注が増えて来ているため、やや良くなっていると判断した。	
	サービス業（会計事務所）	新型コロナウイルスがワクチン接種等で少し落ち着いてきたことにより、経済活動が動き出したため、やや良くなっていると判断した。	
変わらない	家計	商店街代表者	新型コロナウイルスの感染者や濃厚接触者となっている人は、徐々に増加しているが、感染防止策をとりながらコロナ禍に近い日常生活が出来ている感じがしている。また、県の臨時応援金についても問合せや来訪者が少数であり、企業回復傾向の現れではないかと感じているが、物価高や燃料等の高騰により家計等の支出が多くなっており、特に回復感を感じられないため、変わらないと判断した。
		スーパー	客数に大きな変化がないため、変わらないと判断した。
		スーパー	全体的な値上げ基調の中で、消費者が買控え傾向にあることは変わらない。
		家電販売店	3か月前と比較し、変わらないと判断した。電力、原材料高騰や商品供給の遅れなど、改善する要素がなく、客数の減少を招いている。
		農産物直売所	客数、売上げ、どの数字を見ても変化なし。客の購買意欲も変わらない。
		農産物直売所	新型コロナウイルスが落ち着いてきて、人の流れは多くなったかのように見えるが、逆に物価が上がっているため、変わらないと判断した。
		小売業（菓子類）	9月と今月の売上げの対前年比がほとんど同じのため、変わらないと判断した。
		小売業（薬品店）	売上高、客数ともに前年比微増で変わらない。
		小売業（食品）	新型コロナウイルスに対して、いろいろと緩和されているが、3か月前と比較して、それほど変わらないため、変わらないと判断した。
		小売業	多種にわたる価格の高騰が、景気を悪くしていると思う。旅行支援策などのおかげで、旅行や飲食など一部は改善されている感じもするので、変わらないと判断した。
		割烹料理店	多人数の宴会の予約がまだまだ入って来ず、売上げは厳しいので、変わらないと判断した。
		観光型ホテル	宿泊や宴会の予約状況は、数字的にもあまり変化がないように感じる。
		ゴルフ場	物価高騰や新型コロナウイルスの再流行の余波があるため、変わらないと判断した。
		レジャー施設	新型コロナウイルスの感染者数は多くなってきたが、制限がない分、人の動きは多い。人の動きが多くなることにより、消費が進むが物価高、エネルギー価格高騰により財布の紐は固い。特に平日の飲食は少ないため、変わらないと判断した。
		クリーニング店	3か月前と客数がほぼ変わらない。
住宅販売会社	新規の問合せが増えないため、変わらないと判断した。		
企業	製造業（その他）	特に変化を感じない。	
	製造業（一般機械器具）	受注金額が伸びている訳ではないので、変わらないと判断した。	
	製造業（食料品）	コロナ禍でも経済活動を復活させ、人流が少し出てきたかと思えば、ロシアのウクライナ侵略、円安等で物価やガソリン光熱費などが値上がりし、可処分所得減となり、今度は消費が落ちているため、変わらないと判断した。	
	製造業（ゴム製品）	客先からのオーダーから、変わらないと判断した。	
	製造業（鉄鋼業）	特に大きく状況が変化する予兆は感じ取れない。	
	建設業	ある程度大きい規模で営業を行っている芋農家は景気が上向きだが、その他の業種は特段大きな変化を感じられない。	
	金融業	ロシア・ウクライナ情勢に端を発した、原油価格高騰・物価上昇の影響は、依然として継続している状況。対して販売価格には中々転嫁出来ず、利幅が少なくなっている業種が見受けられるため、変わらないと判断した。	
	不動産業	今までとあまり変わらないと思う。週に5日位、3~4か所に行っているが、客が少し多くなっているような気がする。それでも80%くらいか。	
	サービス業	世情に目立った動きはなく、景気の浮揚感も感じられない。また、例年であれば、年度末を見越して四半期に計画されている比較的大型の商談引合が少なく、動きが鈍いように感じるため、変わらないと判断した。	

変わらない	雇用	人材派遣業	忙しさはあるものの、人手不足などで改善していないため、変わらないと判断した。
		公共職業安定所	新規求人数、有効求人数ともに、前年並みに落ちてきている状況にあり、景気の先行きの不透明さに変わりにないため、変わらないと判断した。雇用調整の動きは引き続き減少傾向にある。
やや悪くなっている	家計	スーパー	11月に商品の値上げがあり、若干ではあるが、売上げが落ちてしまっている。必需品に関しての落ち込みはないが、それ以外の商品は、影響を受けてしまっていると判断した。
		コンビニエンスストア	物価の上昇により、買控えている感じがするため、やや悪くなっていると判断した。
		衣料品販売店	とにかく物価が急に上がりすぎているため、やや悪くなっていると判断した。
		小売業（薬品店）	新型コロナウイルスの終息が見えず受診抑制が続いており、増患が来ていないため、やや悪くなっていると判断した。
		タクシー運転手	日に日に悪くなってきているため、やや悪くなっていると判断した。この状態が続けば、死活問題になる。東京はタクシー運賃が上がったので、地方も上がるだろう。余計に拍車がかかり、タクシー離れになる可能性がある。景気が低迷している現状では、悪くなる一方。景気回復するためには、戦争を早急に終息しなければ、景気は悪くなる一方だ。
		理・美容店	世の中が不景気で客の利用頻度が落ちている上に、年配の方々が施設に入所されたり、亡くなってしまい客数自体少なくなっているため、やや悪くなっていると判断した。
	住宅販売会社	建築費用や工事費用が上がっているため、やや悪くなっていると判断した。	
	企業	農業関係者	物価高の影響が農業資材に大きく影響し、農産物販売に占める経費が増加傾向のため、所得の減少に繋がっているため、やや悪くなっていると判断した。
		製造業（電気機械器具）	主力である自動車部品メーカーからの受注が、全く戻ってきていないため、やや悪くなっていると判断した。
		運輸業（道路貨物運送業）	直近3か月の前年対比は横ばいで、伸び率としては3か月毎に減少しているため、やや悪くなっていると判断した。
保険業		交通事故の減少により、自動車板金工場の仕事が減っているため、やや悪くなっていると判断した。	
不動産業		客数が減少しているため、やや悪くなっていると判断した。	
雇用	学校就業関係者	給料は上がっていないが、物価及び燃料費等の値上がりにより家計は苦しくなっているため、やや悪くなっていると判断した。	
悪	家計	小売業（書店）	インフレで食品の値上げの影響が出ていると思うので、悪くなっていると判断した。
	雇用	求人開拓員	依然として続く物価の上昇、それに拍車をかける品不足。毎月5回～6回実施している出張相談等では、生活保護者の増加に加え「コロナ感染」、「住居確保」等の助成金の申請の増加等が目につくため、悪くなっていると判断した。

(4) 県南地域 【現状】

回答	分野	業種・職種	コメント
良くなっている	家計	スナック	あまり新型コロナウイルスを気にしない人も増えてきているので、会食の機会も多くなっているため、良くなっていると判断した。
		都市型ホテル	宿泊施設においては、政府の全国旅行割引支援対策が功を成して10月頃から稼働が良くなり、順調に伸びてきたと言えるため、良くなっていると判断した。当施設は割引支援対象外であっても観光や出張等で人々が行動したことにより、宿泊施設不足となり予約が取れず、おこぼれをキャッチ出来たことが良かったと言える。
		タクシー運転手	コロナ禍における共存が浸透してきて、外に出て活動する機会が増えてきたと思われるため、良くなっていると判断した。
		サービスエリア	全国旅行支援の影響もあり、秋の観光シーズンの利用客、学生によるバスの立ち寄りが目についたため、良くなっていると判断した。
やや良くなっている	家計	小売業（生花店）	ホテル等の利用状況が徐々に良くなり、業務用の需要も徐々に戻りつつあるが、規模は小さく、回復のスピードも遅い。会社関係の問合せは増えてきている感はあるので、やや良くなっていると判断した。
		小売業（米穀）	新型コロナウイルスの感染の脅威も薄れてきているようで、人は確実に動き出しているため、やや良くなっていると判断した。
		和食食堂	新型コロナウイルスが落ち着いたことで、外出に対する抵抗感が軽減された。物価が上がっていることで、財布の紐が固いと予想していたが、各企業賃上げもしていることで大きなマイナスにはなっていないため、やや良くなっていると判断した。
		日本料理店	今月と3か月前の前年比を比べると、今月の前年比の伸び率がやや良くなっているため、景気はやや良くなっていると判断した。
		都市型ホテル	宿泊については、高稼働を維持している。レストランの予約も3か月前より利用がある。宴会も予約が入りだしたところではあったが、ここに来てキャンセルなども増えてきた。総合しては、やや良くなっていたように思える。
		都市型ホテル	忘年会シーズンということもあり、単価上昇した商品を販売しているが、売れ行きも好評である（件数はコロナ禍前の数字にはほど遠いが）ため、やや良くなっていると判断した。
	タクシー運転手	年末にかけて、多少利用状況が増えているため、やや良くなっていると判断した。	
	企業	製造業（食料品）	業務用の注文が増えている（戻っている）。店の来店数も若干ではあるが増えている、売上げは増えている。ただし原材料の価格が上がっているため、利益は微増である。売上げから利益を引くとやや良くなっていると感じる。
		製造業（その他）	受注量が少しずつ増えてきたため、やや良くなっていると判断した。
		製造業（非鉄金属）	当社は自動車部品製造業であるが、半導体不足も解消されつつあり、受注量が増加しているため、やや良くなっていると判断した。
雇用	学校就業関係者	業務の関係で、製造業の人事担当者と話をする機会が多いが、業績が右肩上がりの企業が多く、景気はやや良くなっていると判断した。	
変わらない	家計	スーパー	単価アップ分、点数減少で変わらないと判断した。
		スーパー	値上げの影響で、売上げ高は上がっているが、客数や買上点数は前年を下回っているため、変わらないと判断した。
		コンビニエンスストア	新型コロナウイルスも一定の許容がされつつあり、人の動きが多くなるのが期待されたが、このところの物価上昇に伴い購買力がシビアになっている感があり、売上げは売価上昇分にとどまっているため、変わらないと判断した。
		家電販売店	実績前年比も横ばいで推移しており、特段景気の向上は見受けられないため、変わらないと判断した。
		衣料品販売店	3か月前と変わらないと判断した。とにかくコロナ、コロナ。中国であれだけのことをしても、解決しない新型コロナウイルス。あと何年かかるのか。経済とコロナ。誰かスーパーマンが出現しないのか。
		タクシー運転手	リモートでの仕事が定着しているのか、利用は減っている気がする。ただし、飲みに行く人たちが出てきたので、日によっては以前よりは利用が増える時もあるため、変わらないと判断した。
		タクシー会社	タクシーの問合せや予約も変わらず、新型コロナウイルス感染者が増えているが、出かける人は減っていないため、変わらないと判断した。
		ゴルフ場	物価の上昇が景気の改善を抑えているため、変わらないと判断した。
		ゴルフ場	通常であれば良くなっている方向だと思うが、旅行支援があり旅行客が増える一方、新型コロナウイルス感染者も増え、第8波に入りつつある。この状況で来場者やパーティのキャンセルも始めているため、変わらないと判断した。
		設計事務所	問合せや来客数は変わらない。
	企業	農業関係者	12月期（初旬まで）の乗客数・客単価を今年9月期と比較すると、両者とも若干の減少傾向。これは毎年の傾向である。前年同期と比較すると、ほぼ変わりはない。
		製造業（食料品）	客単価も客数も変わらない。
		製造業（飲料）	新型コロナウイルスの第8波や円高などの影響があっても、売上げも例年と変わらない状況や来場者数も微増であることから、変わらないと判断した。
		製造業（印刷・同関連業）	受注数等に変化がない。顧客や仕入先の様子についても変化が感じられない。
製造業（一般機械器具）		特に変化はなかった。	
不動産業		特に前回と変わらない。	
金融業		人流は戻りつつあり、飲食店やサービス業等の来店客は回復傾向にあり、ある程度の売上げは見込めるが、電気料金や原材料費などのコストが増加し、収益面では厳しい状況が続いているため、変わらないと判断した。	
不動産業		変わらないと判断した。売上高は、順調に推移している。	
雇用	民間職業紹介業	好転材料と悪化材料で相殺されているため、変わらないと判断した。	
	公共職業安定所	有効求人倍率は9月が1.14倍、10月が1.19倍と大きな変動が見られないため、変わらないと判断した。	

やや悪くなっている	家計	スーパー	以前より、買上点数の減少など、節約志向が高まっているため、やや悪くなっていると判断した。
		スーパー	相次ぐ原料・商品・水道光熱費の値上げ及び賃金据え置きの影響が大きく、点単価上昇・買上点数減少・客単価減という構造が少しずつ進行しているため、やや悪くなっていると判断した。
		コンビニエンスストア	物価上昇のあおりを受けて、買控えが発生しているため、やや悪くなっていると判断した。
		農産物直売所	客数は安定しているが、売上げが減ってきている。あらゆる商品が値上がりしているため、消費者の購買欲が減少しているように見られるので、やや悪くなっていると判断した。
		小売業	行動制限もなく、自治体等のイベントも復活し10月からの旅行支援や行楽に出かけやすい時期でもあり、特に週末は商業施設に来館しない生活動向が目立つ。施設売上げは11月以降厳しく、3か月前比10ポイント程度減少し入館数も同様となるため、やや悪くなっていると判断した。円安等による値上げの動きはあるが、客単価は大きく変動していない。一部の旅行関連業種を除きコロナ前の状況に戻っている。
		和食食堂	新型コロナウイルス感染者数の増加により、やや悪くなっていると判断した。
		テーマパーク職員	9月の昨年比から来場者数が悪化傾向にあるため、今月の景気もやや悪くなっていると思われる。
		ボウリング場	新型コロナウイルスの第8波の影響が徐々に出てきているため、やや悪くなっていると判断した。
		レジャー施設	来場者数の減少により、やや悪くなっていると判断した。
		住宅販売会社	資材の値上げにより住宅価格が高騰し、動きが悪くなってきているため、やや悪くなっていると判断した。
企業	農業関係者	農家向けの生産資材（肥料・飼料・農薬・機械・その他資材等）の物価の高騰があからさまに窺えるが、生産物の価格に反映できていない事が現状である。また、一般消費者の動向を勘案しても、生活物資に加え、食品類においても値上げが著しく、買控えが進んでいると思われるため、やや悪くなっていると判断した。	
	製造業（窯業・土石製品）	仕入れ値が上がっているのに、売値が上げられないため、やや悪くなっていると判断した。	
	製造業（窯業・土石製品）	あらゆる品目の高騰により、やや悪くなっていると判断した。	
	製造業（窯業・土石製品）	物の価格が上昇しており、価格転嫁に時間がかかるため、やや悪くなっていると判断した。	
	建設業	仕入れ資材の値上げとともに、納入も発注しないと日程がつかめず、仕事にならない。客も検討中ではないかと思われるため、やや悪くなっていると判断した。現在、物によって2~3か月待ちが多い。	
	運輸業（倉庫業）	在庫はある程度抱えてはいるが、貨物の動きが鈍化しているため、やや悪くなっていると判断した。	
雇用	求人開拓員	物価が上昇して、光熱費が上昇傾向にあるため、やや悪くなっていると判断した。	
悪	家計	家電販売店	値上りの影響がかなりあると思う。壊れる前に購入する志向から、壊れてからでないと購入しない志向になっているように感じるため、悪くなっていると判断した。
		理・美容店	新型コロナウイルスの第8波の影響により、悪くなっていると判断した。
		理・美容店	会員の客が減っている（戻りが悪い）ため、悪くなっていると判断した。
	雇用	求人広告	全体的な値上げの影響で、購買意欲が下がっているように感じるため、悪くなっていると判断した。

(5) 県西地域 【現状】

回答	分野	業種・職種	コメント
やや良くなっている	家計	コンビニエンスストア	新型コロナウイルスの感染者が多いものの、人流回復により客数も改善傾向にある。また、商品の値上げが多数発生しているものの、それに乗じて単価が上がり、結果売上げが上がっているため、やや良くなっていると判断した。
		レストラン	新型コロナウイルスの感染者はまた増えて来ているが、遊びたいという気持ちが高まって来ているように思うため、やや良くなっていると判断した。
		日本料理店	予約が入るようになった。平日は弱い、土・日曜日がだいぶ戻ったため、やや良くなっていると判断した。テイクアウトは微増である。
		食堂	外出の頻度も増えているように思えるため、やや良くなっていると判断した。しかし、コロナ禍による自粛に慣れてしまいコロナ禍前ほどではないように見える。
		和食レストラン	新型コロナウイルスの感染者は増えているが、客が気にしなくなったため、やや良くなっていると判断した。
		旅行代理店	全国旅行支援で個人客は昨年、一昨年より増加したため、やや良くなっていると判断した。しかし、団体旅行がコロナ禍前の3割程度なので、まだ5割程度の回復である。
		タクシー運転手	少しずつ、客足が伸び始めたように思うので、やや良くなっていると判断した。
		レジャー施設	来館される方の購買意欲の高まりを感じるため、やや良くなっていると判断した。
		クリーニング店	顧客数からみた結果、やや良くなっていると判断した。
		設計事務所	工場関係の設備投資案件から複数の引き合いがあるため、やや良くなっていると判断した。
企業	製造業（金属製品）	弊社の売上げも上がったので、やや良くなっていると判断した。	
	製造業（窯業・土石製品）	見積り等は増えてきたため、やや良くなっていると判断した。	
	製造業（金属製品）	入手に時間のかかっていた材料や部品などが今月入荷したため、やや良くなっていると判断した。	
	建設業	仕事量は増加傾向にあるので伸び率は良くなっていると思うが、材料単価も上がっているため、景気が良くなっているかは微妙だと思うため、やや良くなっていると判断した。	
雇用	求人広告	依頼の間合せや、過去に商談をしたものが申込になるケースが増え、金を支払うことに抵抗を感じない方が増えてきたのかもしれないと感じたため、やや良くなっていると判断した。	
	人材派遣業	紹介予定派遣での求人数（職種は製造、物流、事務関係問わず）が増えたため、やや良くなっていると判断した。	
変わらない	家計	スーパー	来店客数、買上げ点数に変化はない。
		自動車販売店	生活品の値上がりにより、出費を抑える傾向が見られるため、変わらないと判断した。
		農産物直売所	外出機会はあきらかに増加しているが、景気に直結していないように感じるため、変わらないと判断した。
		都市型ホテル	新型コロナウイルス及び物価高騰の影響が続いているため、変わらないと判断した。
		旅行代理店	燃料費は少し回復しているが、客の出足が悪く、やはりコロナ禍の影響が続いているため、変わらないと判断した。集客はやはり悪い状況にある。計画倒れもたくさんある。もっと景気回復しなければ、旅行へ出かける方は増えないだろう。
		道の駅	新型コロナウイルスによる自粛も落ち着いているが、これといった景気回復要因も見当たらないため、変わらないと判断した。
		道の駅	年末にかけて客足が増える予想だが、いろいろな物の値上げラッシュで、購買意欲が減少しているため、変わらないと判断した。
		ゴルフ場	客の来場数、プレー料金以外の売上げ等、3か月前と同水準のため、変わらないと判断した。
		ゴルフ場	コロナ禍が再燃していることで、多少の自粛傾向がある。ただ、年末ということもあり、商業施設等の人の流れは途絶えていない印象のため、変わらないと判断した。
		理・美容店	客との話でも特に変化は見られない。
		商店街代表者	原材料・エネルギー価格高騰等、更には為替相場変動によるコスト増加の影響を受けている業界が多くあり、懸命に経費削減に取り組んでも、経営を圧迫する状況には変わらない。
		設計事務所	通常どおりで変化なし。
		企業	畜産関係者
農業関係者	青果物の販売については、新型コロナウイルスの影響で外国人技能実習生の受入状況の不透明感から、作付面積の減少による取扱数量の減少、販売高が低迷している。また、ウクライナ情勢や円安により、原油や生産資材価格が高騰しており、それを販売高に転嫁させていないため、変わらないと判断した。		
製造業（食料品）	景気が良くなる要素がないため、変わらないと判断した。		
製造業（電気機械器具）	材料や仕入れ部品の値上がりも依然として続いており、状況が変わっていない。		
製造業（金属製品）	引き合い件数、受注額ともに3か月前とほとんど変化はない。来期向けの引き合い品についても、件数はあるものの受注できるかは厳しいものがある。		
金融業	新型コロナウイルスの影響があった飲食・小売業においては改善がみられるも、物価上昇の影響が出てきており、全体としては景気は変わらない状況にある。		
サービス業（コンサルタント業）	飲食店等は、材料や光熱費の値上がりで四苦八苦しており、景気回復の感じはないため、変わらないと判断した。		
雇用	人材派遣業		人材派遣業だが、人材の依頼がないので、変わらないと判断した。
	学校就業関係者	求人企業数は、昨年同様に多いが、紹介できる生徒が少ない。就職内定も昨年同様である。	
	求人開拓員	徐々にコロナ禍前の生活様式に戻つつあるが、管内の求人状況、当所への就職相談での利用者は減少傾向にあるため、変わらないと判断した。	

やや悪くなっている	家計	商店街代表者	商店街もシャッターがさらに増え、当店もコロナ禍から客足は回復しないため、やや悪くなっていると判断した。
		商店街代表者	社会情勢（円高、統一教会、国会議員の不正、大手企業の談合、贈賄）等、我々を取り巻く悪い事件が消費に影を落としている気がするため、やや悪くなっていると判断した。
		家電販売店	物価高騰、給与変化なしで、財布の紐は非常に固いように感じる。ボーナス支給が始まったが、前年と比べて商品購入単価は低いため、やや悪くなっていると判断した。
		メガネ・時計販売店	3か月前と比べて、物価の値上がりが高止まりで、買控えが起きている感じのため、やや悪くなっていると判断した。
		小売業（酒類）	買込み需要があったとみられ9月は売上げが上がったが、10月から値上げの商品が多かったために、今月はやや悪くなっていると判断した。
		レストラン	物価高、エネルギー高で安い価格の商品が出て、高い商品は出なくなっている。皆、出費を抑えている気がするため、やや悪くなっていると判断した。
		レジャー施設	光熱水費（電気料）や燃料費等をはじめ、各種物価の高騰が続いており、一般家庭においても影響を受けていることから、客単価が減少していると思われるため、やや悪くなっていると判断した。
企業	製造業（窯業・土石製品）	受注数が減少しており、原料や部材・梱包資材の高騰が続いているため、やや悪くなっていると判断した。	
	製造業（化学工業）	半導体関連を中心に、中国を中心とした景気減速傾向に歯止めがかからず、サプライチェーン各所での在庫整理がまだまだ進んでいない状況と考えられるため、やや悪くなっていると判断した。	
	製造業（電気機械器具）	受注量減により、各職場で作業時間が短い勤務への勤務変更が相次いでいるため、やや悪くなっていると判断した。	
悪くなっている	家計	スーパー	購買単価が下がっているため、悪くなっていると判断した。
		衣料品販売店	仕入価格の高騰により、販売価格が高くなり消費が減少したため、悪くなっていると判断した。
		製茶販売	物価が上がったのに 給料は上がらない。これで良くなる理由があると思うか。
		観光型ホテル	わずかだが、10月11月と客が団体で行動するようになり、団体客の予約が増えてきた。客の表情も明るく感じて、楽しい話をするできるようになってきた。12月に入って、客がまた一段と新型コロナウイルスの感染を気にするようになり、動きが止まり始めた。また、身近に感染者が出てきて不安感が多くなり、12月の団体客の予約はすべてキャンセルになったため、悪くなっていると判断した。
	企業	製造業（印刷・同関連業）	原材料（紙・インク・薬品）の値上がりが激しく、価格に転嫁できないため、採算が悪くなっている。
		製造業（窯業・土石製品）	3か月前には想像だにしなかったくらいに売上げが落ち込んでいるので、悪くなっていると判断した。しかし、明るい要素は来年1月の中国の春節における大型連休で、中国のメーカーが製品の受注ができないのと、また出荷できないので当社や日本のメーカーへ発注がなされることが期待できるので良くなると考えている。
	建設業	受注の減少により、悪くなっていると判断した。	

Ⅲ 景気の判断コメント — 2 景気の先行き判断コメント

(1) 東北地域 【先行き】

回答	分野	業種・職種	コメント	
やや良くなっている	家計	小売業（食料品）	人流が出てきているため、やや良くなっていると判断する。	
		小売業（時計）	新型コロナウイルスの第8波も落ち着いてくると思われるため、やや良くなっていると判断する。	
		観光型ホテル	行動に関する制限がなくなって、宿泊や宴会の利用者増が見込めるため、やや良くなっていると判断する。	
		タクシー運転手	新型コロナウイルスが収束しそうに思われるため、やや良くなっていると判断する。行動制限がなく、ワクチン、飲み薬が効果を発揮する。イベント開催が緩和されている。	
		レジャー施設	円安のピークが過ぎて、徐々に円高が進み、現在よりも物価が安定して景気も良くなると想定されるため、やや良くなっていると判断する。	
		ゴルフ場	新型コロナウイルス対応の薬が出来て、現在の状況に慣れると思うので、やや良くなっていると判断する。	
		設計事務所	希望であるが、やや良くなっていて欲しい。	
	企業	水産業関係者	円安、品不足等の影響が緩和と言うより安定化に進むと思うため、やや良くなっていると判断する。	
		製造業（化学工業）	新規ビジネスの話が増えてきているため、やや良くなっていると判断する。	
		製造業（精密機器）	受注が増えつつあるため、やや良くなっていると判断する。	
		非製造業（その他）	受発注量（≒作業量）が増加傾向にあるため、やや良くなっていると判断する。	
	変わらない	家計	商店街代表者	戦争が終わらないし、新型コロナウイルスが終息しないと思うため、変わらないと判断する。
			スーパー	景気後退、物価上昇によるスタグフレーションの流れが1年は続くと予測しているため、今後も厳しい状況が続くと思われる。
コンビニエンスストア			購入する場所を探しているため、変わらないと判断する。	
小売業（弁当・惣菜店）			変わらないと判断する。個人の消費は堅調と述べたが、さらなる回復にはイベントなどの団体の消費が大きいと感じている。年が明け、新年会、出初式、成人式これらの開催の有無、規模が気になるところである。	
衣料品販売店			新しい商売の仕方を模索中のため、変わらないと判断する。	
小売業（水産物）			変わらないと判断する。新型コロナウイルスの第8波の影響や、物価高騰による購買欲の低下が不安だ。	
スナック			ホームセンターや食料品などの必需品を売る店は賑わっているが、夜の飲食店はこの限界ではとても暇なため、3か月先も現状と変わらないと判断する。	
観光型ホテル			すべてが新型コロナウイルスの動向次第かと思うため、変わらないと判断する。	
タクシー運転手			今年前半よりは、少し景気が上向いた時期もあったが、仕事をしている中で、3か月先に良くなっているとは考えにくいので、変わらないと判断する。	
ドライブイン			まだ新型コロナウイルスが蔓延中、物価の上昇も続いている。継続して財布の紐は固いため、変わらないと判断する。	
ゴルフ場			物価は高騰していても、全国旅行支援などの政府の支援対策が行われているため、安定して売上げが上がっている。	
写真店			客の動きがやはり鈍いとともに、価格にも非常にシビアな声を聞く。この流れはなかなか変わることはないのではないかと思うため、変わらないと判断する。	
企業			製造業（電気機械器具）	取引先の多くが年度末で、特に今まではその時期を過ぎると、良くなるか、悪くなるかの判断ができるのだが、ちょうどその中間なので変わらないと判断する。
			製造業（電気機械器具）	液晶・半導体製造装置関連において、仕事を別部門にシフトする状況は当面続く見込みのため、変わらないと判断する。
			製造業（精密機器）	現在の状況で推移しそうなので、変わらないと判断する。
			建設業	日頃接する取引先の様子では、景気に不安感はあるものの、それほど深刻な感じではないので、変わらないと判断する。
	建設業	日銀の利上げによって、先行きがまだ不透明になってきて、住宅ローンの借り入れに影響を及ぼしてくるかと思われる。		
雇用	求人開拓員	金融業	新型コロナウイルスの収束が見通せず、ウクライナをはじめ世界情勢も不安定な状況にあり、原材料や燃料価格の高騰も今後もこの傾向が続くと予想される。設備投資関連の需要も低迷が続くと思われるため、変わらないと判断する。	
		県全体の有効求人倍率に対し、当所管内は倍率は低い状況が続いており、当所への求職者数（相談者数）も、12月に入ったからか少なくなっているため、今後3か月先においても、大きな変化はないと思われる。		

やや悪くなっている	家計	スーパー	高齢者が多く、様々な商品の値上げで年金のみの収入では、なかなか生活が豊かになるのは難しい。また、失業率が高いため、やや悪くなっていると判断する。
		コンビニエンスストア	例年冬は売上げが下がるため、やや悪くなっていると判断する。
		小売業（食料品）	コロナ禍による制限がなければ、自主規制している感が見えるため、やや悪くなっていると判断する。相次ぐ値上げの影響は確実に始めている。中小、飲食店等個人事業主の廃業などの噂が増えてきている。
		自動車販売店	今後も様々な物の値段が上がり、生活重視の傾向になり、高額な自動車の購入については先送りになる可能性が高いと思うため、やや悪くなっていると判断する。
		小売業（酒類）	自営業はますます厳しい状況だと思うので、やや悪くなっていると判断する。
		日本料理店	新型コロナウイルスの感染拡大や原材料の値上げが続く。防衛費の問題による増税感やウクライナの状況により、やや悪くなっていると判断する。
		観光型ホテル	物価高騰が大きく響くと思われる。先行予約も動きがない状況のため、やや悪くなっていると判断する。併せて新型コロナウイルスの感染拡大が心配される中なので、慎重な運営（経費削減）が必要となるものと窺える。
		タクシー運転手	周りに影響が出ないようになると思われるため、やや悪くなっていると判断する。
		ゴルフ場	忘年会シーズンでもある今より良くなっているとはあまり思えないため、やや悪くなっていると判断した。
企業	製造業（電気機械器具）	世界的に情勢不安が続いており、解決される見込みが立たないため、やや悪くなっていると判断する。	
	製造業（電気機械器具）	第3クォーターに比較して、第4クォーターが落ち込むため、やや悪くなっていると判断する。	
	不動産業	物価の値上がりが続く、節約志向になり財布の紐は固くなっていく気がするため、やや悪くなっていると判断する。	
雇用	求人広告	新型コロナウイルスの時もそうだが、この変化した状況に各企業が対応するまで時間を要するため、やや悪くなっていると判断する。	
	公共職業安定所	政府の対コロナ対策が景気の足かせとなっているため、やや悪くなっていると判断する。	
	学校就業関係者	業者との会話から、やや悪くなっていると判断する。	
家計	小売業（食料品）	値上がり幅が大きいため、悪くなっていると判断する。	
	レストラン	弊社で1番売上げの高い店舗の隣に、春先の予定で競合店が出店する。かなりの売上げ減が予想されるため、悪くなっていると判断する。	
	ゴルフ場	新型コロナウイルスの第9波、10波の懸念と水光熱費の負担増、ガソリン代の高止まりにより、悪くなっていると判断する。	
	美容室	これからの日本経済が良くなっていると思えないし、シワ寄せがますます地方にも来ると思う。物価高はすぐには下がらないのでさらに厳しくなると思うため、悪くなっていると判断する。	
企業	林業関係者	新型コロナウイルスの第8波も踏まえ、年越しも景気が回復するとは考えにくい。物価高騰につれ所得向上でもない限り難しいのではないかと。円安が徐々に緩和されたときは国産材の価格暴落も考えられる。	
	製造業（食料品）	更なる値上げは売上げ減少につながる可能性が大いにあるため、悪くなっていると判断する。	
	製造業（金属製品）	来期は、工場の仕事が極端にないとの情報あるため、悪くなっていると判断する。	
	製造業（電気機械器具）	受注に変わりはなく景気悪化と感しない所はあるものの、電気代の高騰で支出が多い状況の改善が図れないため、悪くなっていると判断する。	
	製造業（その他）	会社の業績が益々厳しくなる中で給与のベースアップも見込めない。今後食料品から日常生活品に至るまで更なる値上げを危惧している。政府自民党の強力なリーダーシップの発揮がなければ打開は難しいと思われるため、悪くなっていると判断する。当面現状が続くのではないかと。	

悪くなっている

(2) 県央地域 【先行き】

回答	分野	業種・職種	コメント	
やや良くなっている	家計	商店街代表者	昨年に比べると、今後3か月に処理しなければならない仕事の受注量が多いため、やや良くなっていると判断する。	
		楽器販売	新型コロナウイルスも落ち着きを見せており、各種行事等が企画どおりに行われるようになった。それに伴い販売も促進された（感染者数は横ばいだが、自粛等に関してこれまでもほどの規制がなくなり、各種事業が行えるようになっていく）ため、やや良くなっていると判断する。	
		日本料理店	客が増えてきているが、新型コロナウイルスの感染を気にしている方もいる。	
		割烹料理店	新型コロナウイルスも落ち着き、良くなっていくことを願いたい。	
		都市型ホテル	感染状況の悪化などにより、やや鈍化している傾向は感じるが、前年と比べ若干忘年会や新年会の需要も戻ってきている感じがするため、やや良くなっていると判断する。	
	企業	製造業（窯業・土石製品）	10月以降の受注分の引渡しが、来年1月から2月であり多少忙しいため、やや良くなっていると判断する。	
		製造業（精密機械器具）	状況は半導体、電子部品の入荷次第となるが、やや改善されつつあるようなので、今はその過渡期にあると期待しているため、やや良くなっていると判断する。	
		運輸業	顧客製品の出荷台数が増える見込みのため、やや良くなっていると判断する。	
	変わらない	家計	小売業	3か月先の3月は、卒業・入学・新社会人等新生活に向けた準備・春のモチベーション需要が高まりをみせ、ギフト・自家需ともにプロパー商材が稼働する売上げ確保月である。新型コロナウイルスの新種株の感染状況により商況は変化するが、さらなる生活必需品の値上げも想定され、物価高騰による中間層の生活防衛意識の高まりが助長されることが予想されることから、景気の回復は見込めず、横ばいと判断する。
			スーパー	新型コロナウイルスの第8波が、何処まで続くかわからないし、物価上昇も、まだまだ続くので、先が見通せないため、変わらないと判断する。
スーパー			現状から判断すると、3か月後も今の状態と変わらないと思う。	
コンビニエンスストア			今の売上げが変わらず続くと思うので、変わらないと判断する。	
コンビニエンスストア			周辺環境で大きな変化はなく、現状の状況が継続すると見込むため、変わらないと判断する。	
自動車販売店			客の動向はほぼ変わりがないと推測する。私たちの業界は、おそらく1～2年は正常復帰に時間がかかるために好転はないものと思われる。	
旅行代理店			物価高が収まりそうもないため、変わらないと判断する。	
旅行会社			燃料など安くなる見込みがないため、現在の状況と変わらないと判断する。	
バス運転手			現在の閉塞感を打ち破る、逆転ホームランのような「もの」・「こと」を見いだせないため、変わらないと判断する。	
タクシー会社			新型コロナウイルスの第8波の状況次第とも言えるが、行動制限がないことを想定すれば、あまり変わらないと判断する。	
タクシー会社		大きな変革がない限り変わらないと判断する。また、人出不足により企業収益を上げることが難しい状況にあり、賃金等の上昇も最低限で急激な物価高騰に対応できるものではないことから、消費上昇は見込めないと判断する。		
観光名所		3か月先の予約が、例年と比較すると少ないので、今月と変わらない状況のため、変わらないと判断する。		
レジャー施設		全国旅行支援等により、施設等も現状を維持しているが、今後もピークアウトは見込めないため、変わらないと判断する。		
ゴルフ場		水光熱の高騰している現在の状況はまだ継続の見込みのため、変わらないと判断する。		
ボウリング場		人の動きにあまり変化が見られない。		
理・美容店		新型コロナウイルスが落ち着かない限り、変わらないのではないかと。		
写真店		もともと、この時期はあまり仕事がないため、変わらない。		
設計事務所		物価上昇は続くと思える。働き方改革の推進は福利厚生充実が先行、利益を出す働き方は苦戦している。景気を高めるにはしばらく時間がかかると思うため、変わらないと判断する。		
農業関係者		世界情勢が変わらない限り、良くはならないため、変わらないと判断する。		
企業		製造業（食料品）	3か月後は、新型コロナウイルスの第8波が既に収束しているか、収束せずとも影響は少ないと予測しているため、変わらないと判断する。	
	製造業（印刷・同関連業）	売上げ実績の数字には表れているが、年末・年始の休みが入り仕事の流れがストップするため、変わらないと判断する。		
	製造業（一般機械器具）	製造業の各企業で仕事量が増えてきたとの声をよく聞くが、燃料費や材料費が高騰しており、コスト高騰分の価格転嫁が難しく結果、利益は減ってしまうため、変わらないと判断する。		
	製造業（輸送用機械器具）	円安の継続により材料の高値継続、半導体の供給不足等により環境的には依然として厳しい状況にある。また、ウクライナ情勢の好転の兆しがなく、材料高騰並びに部材供給逼迫懸念が払拭されておらず、依然として国内外の景気好転の兆しが見えてこないため、変わらないと判断する。		
	製造業（精密機器）	現状何が起るかかわからないため、変わらないと判断する。		
	運輸業（道路貨物運送業）	長引く半導体不足により、部品等の貨物の滞留が解消されるとは思われないため、変わらないと判断する。		
	金融業	様々な業種が混在する地域において、人の流れは少ない状況が続いている。特に飲食業・小売業の先は、行動制限の緩和だけでは客足の回復への効果は薄く、新たな物価上昇の懸念もある中で、景気回復には至らないと思われるため、変わらないと判断した。		

変わらない	企業	不動産業	中国のゼロコロナ政策・ウクライナ情勢・国内個人所得の伸びも期待できる部分は少なく、状況としては変わらないのではと感じている。	
		情報通信業（情報サービス業）	年度末までは変わらないのではないかと。来年度から悪くなりそうだ。	
やや悪くなっている	家計	雇用 人材派遣業	先行きは不透明であり、このまま推移していくと思われるため、変わらないと判断する。	
		スーパー	12月は値上がり前の駆け込みでの売上げ増だが、年明けからの値上がりにより少し減少すると思う。買控えがあるかと思うので、やや悪くなっていると判断する。	
		スーパー	まだ、安定する将来が見えないので、やや悪くなっていると判断する。	
		酒・各種商品小売業	旅行割引も終わり、その反動が起きるため、やや悪くなっていると判断する。	
		小売業	今後も物価高が続くため、やや悪くなっていると判断する。	
		農産物直売所	レジ通過人数が平年より少なくなっている。買控えと思われるため、やや悪くなっていると判断する。	
		食堂	物価上昇により外食が減少傾向にあるため、やや悪くなっていると判断する。	
		都市型ホテル	予約状況が伸びておらず、今後も大きく伸びる様子もなく、現在よりも下がるかと予想するため、やや悪くなっていると判断する。	
		観光型ホテル	物価高による消費への影響がでてくるものと考えているので、やや悪くなっていると判断する。	
		タクシー運転手	このところの原油高で燃料費が高騰している。利益率が減少傾向にあり、3か月先もこの傾向は続くと思われるので、景気はやや悪くなると思う。	
		レジャー施設	仕入、物価の値段が更なる値上げの恐れがある。新型コロナウイルスの感染者も増えてきているので、利用者が少なくなるのではと懸念しているため、やや悪くなっていると判断する。	
スーパー銭湯	人手、物不足に加えエネルギーコストが大きな負担になってくる。電気料金の値上げ要請も来ていて、コストが増える事は明白なため、やや悪くなっていると判断する。			
住宅販売会社	住宅金利が来年は上がる見込みのため、やや悪くなっていると判断する。			
悪	家計	企業 建設業	業務を縮小しているため、やや悪くなっていると判断する。	
		雇用	求人広告	引き続き物価高の影響が根強いと、やや悪くなっていると判断する。
			公共職業安定所	今まで増加傾向にあった新規求人数および新規求職申込数が10月に減少に転じたため、やや悪くなっていると判断する。【令和4年10月】新規求人数、前年同月比▲5.7%、新規求職申込件数、前年同月比▲15.4%。
			学校就業関係者	世界情勢が好転せず、悪化した状態の長期化が想定される。ますます影響を受ける業種・業界が増えると思われるため、やや悪くなっていると判断する。
			求人開拓員	事業所の原材料、エネルギーコストの高止まりに加え、増税予想による心理的要因も加わり、景気後退が継続するとと思われるため、やや悪くなっていると判断する。
割烹料理店	新型コロナウイルスの第8波により患者が増加し、自粛ムードがまた起きてきているので、悪くなっていると判断する。			
道の駅	新型コロナウイルスの第8波がやってきているので雰囲気が悪い。水道光熱費やあらゆるものが値上げされていて、消費意欲がなくなっている。また、インボイス制度や65歳まで年金支払いなど、金がかかるニュースばかりが流れていて先行きは暗いため、悪くなっていると判断する。			

(3) 鹿行地域 【先行き】

回答	分野	業種・職種	コメント	
良	企業	不動産業	時期的にも3か月後には集客が見込めるため、良くなっていると判断する。	
やや良くなっている	家計	コンビニエンスストア	旅行や、車で出かける人が増えており、金を使うことが増えると予見されるため、やや良くなっていると判断する。	
		小売業（菓子類）	人流は増えているので、新型コロナウイルスの感染拡大が落ち着けば売上げは増加すると思う。いわゆるリベンジ消費が期待できるため、やや良くなっていると判断する。	
		洋食食堂	売上げに関しては順調に回復しているため、やや良くなっていると判断する。	
		観光型ホテル	新型コロナウイルスの第8波が終息すれば、やや良くなっていると判断する。	
		道の駅	個人利用者の全国旅行支援のクーポン券利用が多いため、やや良くなっていると判断する。	
	企業	製造業（一般機械器具）	問合せが多くなっているため、やや良くなっていると判断する。	
		製造業（電気機械器具）	新規受注の案件が、今月に入り複数出てきているため、やや良くなっていると判断する。	
		製造業（金属製品）	海外からの注文が増えた。コストアップによる単価変更により売上げ増大したため、やや良くなっていると判断する。	
		建設業	以前に比べて受注の状況が改善しているため、やや良くなっていると判断する。	
		建設業	旅行関係の支援が戻り、旅行客が増えることで、少しずつではあるが景気は上向きな可能性が高いため、やや良くなっていると判断する。	
		保険業	研修視察旅行や忘年会の話が出てきているので、やや良くなっていると判断する。	
		サービス業（会計事務所）	新型コロナウイルスがワクチン接種がより進むことによって、経済活動も良くなると思われるため、やや良くなっていると判断する。	
	変わらない	家計	スーパー	年末になり売上げは伸びるが、その後は、これまでと変わらないと思う。11月の値上げ後の状況は、12月に入っても変わらずに続いているため、そのような状況からも、3か月先の景気は変わらないと思う。
			スーパー	相次ぐ値上げの公表や、報道による食品支出の冷え込みが警戒されるため、変わらないと判断する。
家電販売店			電力、原材料高騰や商品供給の遅れなどの状況が改善するに至らないため、変わらないと判断する。	
農産物直売所			いつも書くことだが、良くなる要素がないため、変わらないと判断する。	
農産物直売所			物価が上がり続ければ、人の流れが増えてもあまり変わらないと思われる。	
小売業（薬品店）			最近の値上げの影響がほとんど感じられないので、変わらないと判断する。	
小売業（食品）			新型コロナウイルスに対して、いろいろと緩和されているが、現在の状況とそれほど変わらないと思うため、変わらないと判断する。	
割烹料理店			政府は新型コロナウイルスの規制はしないというが、感染者が増えれば客個人で自粛するので、厳しいのは変わらない。	
海鮮料理店			宴会は相変わらずなく、先が読めない。客の外出に対する考え方が変わらない限り、変わることはないと思う。	
旅行代理店			物価の高騰で買控えがあり、生活費を切り詰めているため、変わらないと判断する。	
ゴルフ場			引き続き、現状を維持している感じがするため、変わらないと判断する。	
ゴルフ場			新型コロナウイルスが再び流行りだしていることを考えると、現状よりも良くなるとは思えず、かと言って昨年までのように急激に落ち込むとも思われないため、変わらないと判断する。	
レジャー施設			更に食料品等の値上げが周知され、どの業界も厳しい状態。正月や成人式など行事はあるが、収入に対し支出が多いため、消費は冷え込むと思われるので、変わらないと判断する。	
理・美容店			3か月では、世の中は変わらないと思う。まだまだ、外出や会合、観光も危ぶまれ調整の必要性もあまりないようだ。	
クリーニング店			3か月後も変化はないと思う。	
住宅販売会社			変わらないと判断する。資材の高騰がネックになり、住宅新築・リフォームの見積り金額が客の要望と合わなくなっている。	
企業	製造業（食料品）	ウクライナや円安が収まるとは思えないので、変わらないと判断する。		
	製造業（ゴム製品）	客先からのオーダーから、変わらないと判断する。		
	製造業（鉄鋼業）	特に大きく状況が変化する予兆は感じ取れない。		
	運輸業（道路貨物運送業）	受注が増えてはいるが、燃料の高騰は変わらないため、変わらないと判断する。		
	運輸業（道路貨物運送業）	直近3か月の前年対比は横ばいである現状の状態が続くと感じるため、変わらないと判断する。		
	金融業	世界的な原油高は継続しており、新型コロナウイルスに関しても収束の目途が立っておらず、地域経済活動の回復は見込めないと思料するため、変わらないと判断する。		
	不動産業	良くなるような要素がないため、変わらないと判断する。一部品物の入荷が以前よりは納期が短くなったと思う。まだまだ建築用資材、鉄骨等値上りしているが、せめて10%位の値下がり期待したいと思う。		
	サービス業	新型コロナウイルスによる影響は徐々に薄れてきているようであるが、来社される客も多くはなく、今年度中は大きな変化があるとは思えないため、変わらないと判断する。一方で、接客業は少しずつ回復しているようであり、年明けの状況（新型コロナウイルス、ウクライナ等）に注視されている客は少なくないようである。		

変わらない	雇用	人材派遣業	料高、人手不足の改善策が見られないため、変わらないと判断する。
		民間職業紹介業	物価高で様子見をしている感じを受けるため、変わらないと判断する。
		学校就業関係者	家計は苦しくなっているが、円安により、輸出関連企業は景気が良いと感じている（求人も積極的である）ため、変わらないと判断する。
やや悪くなっている	家計	商店街代表者	今後、冬場にむけて、さらに電力等の使用量の増加や物価高により、企業活動や家計においても徐々に影響が及んでくると考えられるため、やや悪くなっていると判断する。
		スーパー	物価高騰による値上げが続いているため、やや悪くなっていると判断する。
		コンビニエンスストア	今後も物価や税金の上昇が続くと思うので、やや悪くなっていると判断する。
		衣料品販売店	物価の上昇はもちろん、消費税含む税金のことなど先行き不安要素ばかりなので、やや悪くなっていると判断する。
		小売業（薬品店）	新型コロナウイルスの終息が見えず受診抑制が続いており、増患が出来ていないため、やや悪くなっていると判断する。
		小売業	引き続き、原材料の高騰や人手不足等が改善されず、景気がやや悪くなるように感じる。
		和食レストラン	新型コロナウイルスの第8波、原油高を含めた物価上昇の影響を懸念しているため、やや悪くなっていると判断する。
		観光型ホテル	新型コロナウイルスの感染状況や県民割、全国割の実施期間の延長などにもよってくるかと思うが、やや悪くなっているか、良くて変わらない状態であると考える。
		運転代行	売上げも期待できない傾向にあると思うので、景気はやや悪くなっていると判断する。
		住宅販売会社	物価が上がっているため、やや悪くなっていると判断する。
企業	農業関係者	農業資材の高騰が続いており、今後も状況はすぐには変わらないため、景気はやや悪くなっていると判断する。	
	製造業（その他）	物価高や輸入為替状況が改善しそうにないため、やや悪くなっていると判断する。	
雇用	公共職業安定所	原材料費、物価の高騰の影響が景気にブレーキをかけている状況から、倒産や規模縮小の案件が少しずつ見られるようになってきているため、やや悪くなっていると判断する。	
	求人開拓員	事業所からの求人数は、依然としてそれほど変わらないのに対して、求職者等の相談人数が減少しているため、やや悪くなっていると判断する。当地区で先月実施した「就職面接会」でも、参加事業所数はさほど変わらないが、参加求職者数が大幅にダウンした。	
悪	家計	小売業（書店）	インフレで食品やガソリン、また、冬場なので灯油の価格上昇に影響すると予測するので、悪くなっていると判断する。
		タクシー運転手	新型コロナウイルスもそうだが、一番の問題はロシアとウクライナの戦争だ。物価上昇が続き、だんだんと生活も苦しくなっていくため、悪くなっていると判断する。頭のいい人は世界中にたくさんいる中、どうして戦争が終息できないのか。戦争が終われば、景気は必ず良くなるはずだ。

(4) 県南地域 【先行き】

回答	分野	業種・職種	コメント
良	家計	理・美容店	毎年、年始過ぎに新型コロナウイルスの感染者数が減っていくので、良くなっていると判断する。
		理・美容店	新年度を迎えて世の中が動き出すため、良くなっていると判断する。
	企業	製造業(非鉄金属)	半導体不足解消により増産が見込まれるため、良くなっていると判断する。
やや良くなっている	家計	スーパー	新型コロナウイルスの影響もだいぶ落ち着いてくると思う。外食や帰省など、人が動いてくると思うので、やや良くなっていると判断する。
		小売業	新型コロナウイルスの感染状況に加え、電力不足や物価上昇による影響はあると予測されるが、消費自粛にはつながらないと思われる。再度行動制限が発せられない限り、通常の消費活動が見込まれる。新型コロナウイルスの対策を継続しながら、通常の買物やサービス利用は上向くと感じる。年明けの旅行支援は平日中心となる見込みで、秋の行楽シーズンとは違い週末の来館については上向くとと思われるため、やや良くなっていると判断する。
		衣料品販売店	スーパーマンが出て、新型コロナウイルスが下降気味になったら、一気に解決するかもしれないため、やや良くなっていると判断する。
		都市型ホテル	春になると、インバウンドの利用も増え、国内の旅行や研修関係も予約が入っており、このまま実行されれば、景気はやや良くなっていると判断する。
		タクシー運転手	自粛ムードも落ち着き、活動が活発化すると思われるため、やや良くなっていると判断する。
企業	製造業(窯業・土石製品)	少しずつ売値を上げて受け入れられるかと思うので、やや良くなっていると判断する。	
変わらない	家計	家電販売店	来年はさらに値上がりが見込まれており、良くても今の現状維持程度と考えるため、変わらないと判断する。
		家電販売店	パソコンのOSサービス終了が予定されているため、当店の実績は微増することが予想されるが、新型コロナウイルスが再度増えてきていることを考えると、景気向上に繋がることは困難とみているため、変わらないと判断する。
		小売業(生花店)	人の集まる行事は戻りつつあるが、まだ十分ではなく、参加者も感染を心配している様子が感じられ、身近な人間の新型コロナウイルスの感染が増えてきていることから、景気の先行き3か月は見通しが明るいとは言えないため、変わらないと判断する。
		小売業(米穀)	年末年始で感染者が増えると予想する。結び付きの飲食店では、忘年会、新年会の予約も入っていないようだ。物価高の影響も出てきているように感じるため、変わらないと判断する。
		和食食堂	物価高の影響が出始めると予想する。しかし、消費意欲、外出意欲は依然続くと思うので変わらないと考える。
		スナック	しばらくは現状の感じでいくのではないかと思うため、変わらないと判断する。
		都市型ホテル	宿泊高稼働はこのまま推移していると思われ、レストラン、宴会、婚礼もほぼ横ばいの状況と見えるため、変わらないと判断する。しかし、競合他社の閉鎖など、婚礼は引続き厳しいと思われる。
		タクシー会社	ここ半年くらいは変わらないと思う。
		サービスエリア	エリアへの客の立ち寄り状況は回復しているが、旅行支援の終了や、冬季の新型コロナウイルスの感染者増による出控えが懸念されるため、変わらないと判断する。また、物価の高騰は短期間で回復する可能性が低いことも、消費低迷に拍車をかけると思われる。総合的に考えると大きく変わらないか、若干の景気後退も考えられる。
		ゴルフ場	物価の上昇や円安のため、変わらないと判断する。
		ゴルフ場	今回は予測が難しい。現在の状況では、予約の出足も遅く、空が目立っている。様子見をしている気配があるので、判断としては変わらないと思われる。
テーマパーク職員	昨今の物価高騰の波は未だ変わらず、3か月先も変化はないと予想するため、現在と景気は変わらないと判断する。		

変わらない	企業	農業関係者	円安については一時より回復状況にあるものの、世界情勢（ウクライナ他）を考えると解決の見込みは薄いと感じられる。食料品の世界的消費増加傾向を考えたときに、輸入品の価格はそれほど下がらないとも考えられ、国内の農業政策にも革新的一手が講じられない事を考えると、明るい未来を描くことがなかなか難しいと思うため、変わらないと判断する。
		農業関係者	今後の景気回復の要素が見当たらないため、変わらないと判断する。
		製造業（食料品）	今の感じからすれば、売上げは堅調に推移すると思う。原材料価格の値上げ通知（予告）が以前より多く届いているので、結果としてそんなに変わらないと思う。
		製造業（食料品）	客単価も客数もすぐに変化する要素が見当たらない。
		製造業（飲料）	物価の値上がりなどもあり、客が嗜好品を買控える状況も考えられることから、3か月後も変わらない状況は続くのではないと思う。
		製造業（印刷・同関連業）	景気上昇の好材料やマイナスの要素も感じられないため、変わらないと判断する。
		製造業（その他）	今の状況では先の予測がつきにくいいため、変わらないと判断する。
		製造業（窯業・土石製品）	不確実性が高まると考えており、判断が難しい。
		製造業（一般機械器具）	様々な物品の値上げはあっても、変わる材料にはならない。
		不動産業	よくても現状維持な予想。
		建設業	資材、部品全般的に流通不足のため、今後しばらく変わらないと思う。
		運輸業（倉庫業）	好転する要素が見当たらないため、変わらないと判断する。
		金融業	顧客の大半は新型コロナウイルスの第8波を警戒しており、特に飲食業界においては、年末年始の宴会予約キャンセルが発生し、最大需要期のチャンスを逃している。また、物価上昇は続いており、原材料コスト削減は難しく、厳しい状況は変わらないと思われる。
		不動産業	物価高の影響はあるものの、県南の不動産需要は、堅調であるため、変わらないと判断する。
雇用	民間職業紹介業	半導体部品の供給量が解決されるため、変わらないと判断する。	
	求人広告	変わる要因が思い当たらない。	
	公共職業安定所	変わらないと判断する。新規求人数は、わずかに増えているが、物価高騰等の影響を注視していく必要がある。	
	学校就業関係者	業務の関係で、製造業の人事担当者と話をする機会が多いが、受注が安定しているという企業が多いため、変わらないと判断する。	
やや悪くなっている	家計	スーパー	今後も商品の値上げが続けば、さらに厳しくなると予想されるため、やや悪くなっていると判断する。
		スーパー	物価上昇により、やや悪くなっていると判断する。
		スーパー	現在の様々な値上構造に改善の期待がないため、やや悪くなっていると判断する。
		コンビニエンスストア	売価高による購買力の鈍化、新型コロナウイルス、インフルエンザ等の患者増加による外出の減少により、消費が落ち込む懸念があるため、やや悪くなっていると判断する。
		農産物直売所	現在の流れが改善されるとは思われないため、やや悪くなっていると判断する。
		日本料理店	原材料高の影響等により、利益率は減少傾向にあり、3か月先はやや悪くなっていると判断する。
		都市型ホテル	10月～11月の状況がとても良かったので、それより良くなるとは思えない。政府の対策はいつも一時的なものなので、今後少しずつ悪くなっていくものと推測している。
		タクシー運転手	業態の特徴で、年末を境に利用状況が減る。昨年よりは良くなってほしいが、現状と比較するとやや悪くなると予想される。
		タクシー運転手	政府による増税云々の話が出てくると、消費が滞ると思うので、やや悪くなっていると判断する。
		レジャー施設	今後も来場者数の減少が続くと推察されるので、やや悪くなっていると判断する。
		設計事務所	客の年収は変わらないが、材料が高騰し続けているため、受注が厳しくなると思うので、やや悪くなっていると判断する。
		住宅販売会社	日銀が長期金利を上げるため、また、物価上昇がまだ続くためにやや悪くなっていると判断する。
		企業	製造業（窯業・土石製品）
雇用	求人開拓員	電力大手5社の値上げ申請、一般家庭で2,000円～3,000円/月の上昇試算、食料品8,000品目の値上げ予定の来年は、今年の残り分を替円安と低金利政策が続くため、やや悪くなっていると判断する。	
悪	家計	コンビニエンスストア	より物価上昇が加速し、貯蓄する人が増えるため、悪くなっていると判断する。
		ボウリング場	いよいよ新型コロナウイルスの第8波が本格的になりそうなので、それに伴い景気も悪くなるかと思う。

(5) 県西地域 【先行き】

回答	分野	業種・職種	コメント	
良	家計	和食レストラン	客が新型コロナウイルスに慣れてくるため、良くなっていると判断する。	
		コンビニエンスストア	基本的に新型コロナウイルスの影響はあまりないと考え、引き続き人流による客数、売上げの向上があるのではないかと考えるため、やや良くなっていると判断する。	
		自動車販売店	メーカーからの供給が増える見込みがあるので、そこに期待し、やや良くなっていると判断する。	
		メガネ・時計販売店	新型コロナウイルスの感染者が現在よりは落ち着くと思われ、客が外出の機会が増えると期待するので、やや良くなっていると判断する。	
		日本料理店	ワクチンや薬の影響で、新型コロナウイルスを気にしなくなってきたため、やや良くなっていると判断する。	
		食堂	徐々にではあるが、前のような生活に戻って行くように感じる。新型コロナウイルスが増えても、前ほどの警戒感ほとんどの人にはないと思うため、やや良くなっていると判断する。	
		道の駅	年が変わり、新型コロナウイルスも落ち着いてくれば、客足が伸びてくるのではないかと思うので、やや良くなっていると判断する。	
		理・美容店	地域的には、道の駅などの開業で活性化すると思われ、雇用も増える可能性があるため景気が回復するのではないかと思うので、やや良くなっていると判断する。	
		設計事務所	現状より少しずつだが設備投資を決め出したので、やや良くなっていると判断する。	
	企業	畜産関係者	コロナ関連がより落ち着くと見込んで、やや良くなっていると判断する。	
		製造業（金属製品）	凄く忙しいので、やや良くなっていると判断する。	
		製造業（窯業・土石製品）	見積り等の物件が一部受注に繋がると期待し、やや良くなっていると判断する。	
		製造業（窯業・土石製品）	やや良くなっていると判断する。過度に良くなることは期待していないが、何程にも今が悪すぎる。我々の業種、業態は構造不況業種のひとつかもしれない。今は我慢比べである。	
		製造業（金属製品）	1月から3月頃までの依頼が増え始めてきたため、やや良くなっていると判断する。	
	雇用	求人広告	依頼の間合せや、過去に商談をしたものが申込になるケースが徐々に増えつつあると感じている。ここからまだまだ伸びるのではないかと感じているので、やや良くなっていると判断する。	
		求人開拓員	円高、原材料、燃油価格の高騰により家計は苦しいが、サービス業など観光関連は全国旅行支援が始まり、入国時の水際対策の緩和などで人流が増加したことなどで回復していくと考えられるため、やや良くなっていると判断する。	
	変わらない	家計	衣料品販売店	これ以上、悪くならないと思いたい。
			農産物直売所	物価の値上がりが続く、必要最低限の購入が続くため、変わらないと判断する。
			レストラン	物の値段が上がっているため、節約傾向があると思うため、変わらないと判断する。
			旅行代理店	新型コロナウイルスの第8波となっており、旅行客が全国旅行支援期間中で10月、11月より減少傾向であるため、3か月先は変わらないと判断する。
旅行代理店			物価が高くなる予測があるので、財布の紐は以前と比べても緩められないと話す方がいる。良くなる要素がないので、変わらないと判断するが、来春の頃はもっと厳しいかもしれない。	
タクシー運転手			少しずつ客足が伸び始めたが、倒産、店じまいが増加しているため、変わらないと判断する。	
観光型ホテル			年末年始の動向で、また感染者が多くなり、毎日のように報道されて動きは止まる。2月～3月になり、少し落ち着いてくれば多少景気は良くなるのかもしれないが、何度も繰り返して仕事上の体力もなくなってきた。もし、多少景気が良くなったとしてもマイナスがどれだけ良くなるかということであって、プラスに転じることはないと思うため、変わらないと判断する。体力が回復するとは思えない。	
道の駅			日用品については、値上げの影響も少なく変化が少なくなると考える。	
ゴルフ場			客数、予約数は例年並みと大きく変わることがないため、大きな景気の変化はないように感じる。	
レジャー施設			各種物価の高騰が今後も続くと思われるため、変わらないと判断する。	
レジャー施設			今の状態がしばらく続くと思われる。ただし、為替、株価の安定が前提である。	
商店街代表者			長引く新型コロナウイルスの影響により、自主的な行動制限をとることにより、各業界において不安定な状況は続くと思われる。	
クリーニング店			年末・年始は例年通り。1月～3月は閑散期に入るため増える要素はないため、変わらないと判断するが、例年同期間よりは増えるかもしれない。	

変わらない	企業	農業関係者	引き続き、ウクライナ情勢の悪化や円安が続けば、さらなる原油や生産資材価格高騰が続くと考えるため、変わらないと判断する。
		製造業（化学工業）	一部のアプリケーションではやや回復傾向は見られるものの、全体としては景気回復にはまだ時間がかかると思われるため、変わらないと判断する。
		製造業（金属製品）	物価高の影響は大きく、発注数量は期待できない。
		製造業（電気機械器具）	中・長期の予測は難しいが、この状況は当面続くと思われるため、変わらないと判断する。
		建設業	原材料の高騰により、利益率は減少傾向にあり、この先も暫くは続くと思うので景気は変わらないと思う。
		金融業	新型コロナウイルスの影響は変化なく推移しており、また、物価においては、3か月先においても改善が見込まれないことから変わらないと判断される。
		サービス業（コンサルタント業）	変わらないと判断する。コスト増が吸収できなければ、閉店等の店も出現するのではないかと見ている。
雇用	人材派遣業	人材が集まらないため、変わらないと判断する。	
	人材派遣業	12月に入り派遣依頼が減少している。大手製造業の生産見通しが不透明で、関連会社を含め予測がつかないため、変わらないと判断する。	
	学校就業関係者	3か月後は、年度末になることもあり、進路も決定しているため、現状との変化はないと思われる。	
やや悪くなっている	家計	商店街代表者	学校の制服以外の客の単価も少しずつ下がっている気がするため、やや悪くなっていると判断する。
		スーパー	電気料などにかかっている、食品の購入を減らす人が多いため、やや悪くなっていると判断する。
		スーパー	エネルギーコストの上昇により、他の支出を控えると思うので、やや悪くなっていると判断する。
		家電販売店	新型コロナウイルスの第8波とインフルエンザの流行から、近親者にも新型コロナウイルスに感染があった。燃料、物価高も収まらない状況で、貯蓄に回す事が多くなるため、やや悪くなっていると判断する。
		小売業（酒類）	このまま物価上昇は続くようで、嗜好品というものは、家計の中でも最初に削減されるもの。新型コロナウイルスの感染者数もまったく落ち着く感じもなく、外食産業も思うように売上げが立っていない。いろいろ考えると良くなる要素が感じられないため、やや悪くなっていると判断する。
		レストラン	毎日の値上がり、値上がりのこの世相を見せつけられると、皆が金を使うことを控えるので、景気はやや悪くなっていると思う。
		ゴルフ場	新型コロナウイルスやインフルエンザの流行を鑑み、行動制限がかかるような気がするので、やや悪くなっていると判断する。
		設計事務所	円高の影響が出て、コストアップにつながり、事業の進行可否や見直しがされ始めたため、やや悪くなっていると判断する。
企業	製造業（食料品）	食料品関係の全体的な値上げ、また、光熱費の値上げが今後も続くと思われているため、やや悪くなっていると判断する。	
	製造業（窯業・土石製品）	電気やガス等も高止まりせず値上げが続き、原料や部材・梱包資材の高騰も終わりが見えないため、やや悪くなっていると判断する。	
	製造業（電気機械器具）	材料や仕入れ部品の値上がりに加え、電気料金が再び値上がりしそうな状況であるため、やや悪くなっていると判断する。	
	製造業（印刷・同関連業）	原材料の値上がりが止まらないため、やや悪くなっていると判断する。	
悪	家計	製茶販売	お先真っ暗。希望が見えない。
	都市型ホテル	新型コロナウイルス及び物価高騰の影響が続き、さらに物価高騰が進む。令和4年以降、電気代、ガス代も著しく高騰するため、悪くなっていると判断する。	
企業	建設業	受注の減少により、悪くなっていると判断する。	

Ⅲ 景気の判断コメント — 3 その他の意見

(1) 県北地域

分野	業種・職種	コメント
家計	商店街代表者	客数の減少がある。
	スーパー	商品や電気料の値上げなど、各企業の利益は大きく減少傾向にある。
	スーパー	各社電気料金の経費増が深刻だと聞く。弊社も例外ではなく、特に来年4からはさらに増加する見込みである。
	コンビニエンスストア	コロナ禍で厳しくなった店が閉店し始めている。
	小売業（食料品）	高付加価値の商品などの消費と日用的な消費に関して、よく考えて金を使っている話が増えた。
	小売業（弁当・惣菜店）	最近話題になるのは価格転嫁の件、人件費燃料費や材料費その他経費類は大小の幅はあるものの、様々なものが値上がりしている。これらの経費を価格転嫁できるのが人件費アップの肝になる。
	衣料品販売店	旅行や結婚式や葬式等のお出かけ用の衣料品は必要性を失っている。リラックスできる衣料品を求めているように感じる。コロナ禍前のように戻っても、生活スタイルが変わっているのではないかと思う。
	小売業（酒類）	9月から11月の期間、地元自治体主催で、3割引きにて販売した。久しぶりに活気があった。
	小売業（水産物）	物価高騰や人材不足に悩んでいる経営者の声を多く聞く。
	小売業（時計）	商店数が減ってきている。
	レストラン	客の声として、やはり値上げはキツイとの声は多く、なるべく特売商品を中心に買物をする方が増えている。
	スナック	家族でのレジャーや観光はコロナ禍前に戻ったように見える。
	日本料理店	11月まで増えていた、特に県外からの客が減少している。先日、県会議員選挙があったが、投票率の低下、選挙事務所、立ち合い演説会など人の出が少なかった。
	観光型ホテル	新型コロナウイルスと共存しなければならない世の中で、どのようにしたら楽しめるのか考えていると思う。
	観光型ホテル	地域イベントが増加し、人が集まることに対して敷居が低くなった。外出をする機会が増えるので、それに伴い出費が増え、景気に良い刺激が出てくると思われる。
	タクシー運転手	工場などの来客も増え始めている。
	ドライブイン	これまで周りで新型コロナウイルスの感染者が出てなかったのに、ここへきて多発している。サービス業なので、今まで以上に気を使う。
	レジャー施設	新型コロナウイルスの感染拡大による影響が大きいと思われるが、今年も忘年会は行わないとの声を多く耳にする。飲食業にとっては、原材料の高騰もあり、引き続き厳しい経営状況だと察する。
	ゴルフ場	全国旅行支援で、ホテル、旅館は忙しいと思う。
	ゴルフ場	外出する機会が多くなったように見受けられる。
ゴルフ場	インバウンド（韓国、台湾）からの送客の間合せが増えている。	
写真店	本当に必要なものにしか金をかけない。客単価も極端で二極化の傾向が少しずつ出ている。	
美容室	客の来る周期が長くなってきている。	
設計事務所	市の人口が減っていて、止まらない。	
企業	林業関係者	身近で新型コロナウイルスの感染者が急増して、飲食の会合の自粛が多く感じる。
	製造業（化学工業）	小売店の売上げが回復している。
	製造業（電気機械器具）	今まで売上げの5～6割以上の受注量であった取引先の今年2～8月までの生産高が、昨年1～2割に落ち込んだ。理由は、その時期の受注量が取引先で下がったのと、海外に外注先を増やしたためだ。10月から少しずつ作業量が上昇傾向にあった。ただ、約8か月の作業量の低下は弊社の危機でもあった。よく持ちこたえたというのが代表としての実感だ。
	製造業（電気機械器具）	納期が見通せない物品がある。車はメーカーからの納期回答が出ない状況である。
	製造業（電気機械器具）	茨城県の最低賃金も昨年より上がり幅は大きく従業員にメリットはあるが、企業負担増になり、社会保障を含めた政策を検討して欲しいと願う。
	製造業（電気機械器具）	各種部品の入手困難や高騰により、代替品化を提案していく。また、取引先もその動きが見られる。
	製造業（精密機器）	さらに人の採用が難しくなっている。
製造業（精密機器）	光熱費の高騰で出費が増えていると思う。その分、収入が上がるかというところあまり変わっていないと思うので、景気回復はまだ難しいと思う。	

企業	製造業（その他）	生活に厳しさが増す中で娯楽を控える傾向にある。旅行や外食、買物などがそれである。今年始め頃までは、新型コロナウイルスの影響で控えてきたが、今後は贅沢品として控えることになりそうだ。
	金融業	工場の従業員で、複数人が新型コロナウイルスに感染し、工場の生産ラインが稼働できない事態が発生し、納期が大幅に遅れることとなった事例があった。10月からの原材料高騰を控え、9月に材料等をまとめ買いする動きが一部で見られた。
	非製造業（その他）	作業量＞人的リソース という感じだろうか。
雇用	求人広告	地域全体に、後ろ向きというか重苦しい空気がある。
	公共職業安定所	宿泊、飲食のサービス業が、若干盛り返している。
	学校就業関係者	原油価格の上昇。
	求人開拓員	JR内原駅が新築され、南側広場はまだ整備中だが、改札口、南北通路が供用開始となったため、周辺住民の利便性が向上する。また、周辺の宅地開発もまだまだ進んでおり、このところの物価高を除けば、景気は変わらない。

(2) 県央地域

分野	業種・職種	コメント
家計	商店街代表者	冬になり、新型コロナウイルスの感染者が増え、仕事に影響を及ぼすことが多くなった。仕事に従事できないことにより、手配の遅れや流通に影響が出ている。
	小売業	行政施策によりトラベルが回復しているが、コト消費にモノ消費が追いついておらず、トラベル関連商材への反応が鈍い。また、客単価が上昇しており、物価高騰の影響以外にフリー客の減退から顧客シェアの高まりも要因となっている。高い支持を受けていたハイブランド・コスメも値上げによる価格改定や中心顧客層の県外流失の影響もあり、劣勢を強いられている。
	スーパー	チラシを持ってくる来客が増加している。また、チラシ商品を問合せする客が多くなっている。
	スーパー	価格が高くなってきた事は、客も仕方がないと思ってくれている。その分、特価品に対しての客の動きの必死さが以前より増している。
	スーパー	御歳暮の動きが、とても悪い。
	コンビニエンスストア	茨城空港国内線全便運行継続。国際線再開は未定。
	酒・各種商品小売業	観光客を相手に仕事をしている事業者は今のところ良いと思う。まだ夜の飲食店は大勢での飲み会がないため厳しそうだ。
	農産物直売所	9～10月頃増加していた、県外ナンバーの車での来場者が11月後半から減少している。
	日本料理店	アルコールを飲む人が増えてきている。
	食堂	物価の上昇による生活の影響が大きく、消費は控えめになる。ネットによる購入が増加している。
	割烹料理店	新型コロナウイルスの患者が急激に増えていることと、円安がダブルで不安を加速している。この先の経済が良くなる見通しが立たない。
	都市型ホテル	婚礼や会合などでの懇親会需要の回復が見受けられる。
	都市型ホテル	値上げの影響もあり、買控えも見受けられる。自分でも少しずつ調整するなど、以前よりも控えている。年明けからさらに様々な物等の値上げのニュースをみて、不安が大きい。
	観光型ホテル	電気代やガソリン代、スーパーなどで購入する身近な商品が軒並み値上げになり、清算の時に物価高を実感する。
	旅行会社	身の回りの物、ガソリン、灯油、食料品すべての物が値上がりしていて、給料は下がる一方。生活していくのがつらい。
	バス運転手	市内の飲食店で、事業規模が小さい店舗だけでなく、全国に店舗を展開する大手でも閉店となる店舗を見かけるようになった。さまざまな事業支援策も限界に来ているのだろうか。
	タクシー運転手	繁華街に関しては、11月の方が賑わっていたように思う。新型コロナウイルスの感染拡大により、12月は厳しい状況に追い込まれる気がする。県議選もあり、12月とは思えない、静かな感じがする。
	タクシー会社	企業の生き残りをかけて経費の見直し、会社運営の縮小化を検討・実施している。しかし、物価高騰（とりわけ燃料高騰）による打撃をクリアすることが難しく、追い打ちをかけるように人件費上昇による経費増大が厳しさを増している。先の見通しが立たない状況下で企業投資・一般消費減少が続いている。
	道の駅	最低賃金が上がり収入は若干増えたが、それを上回る物価の上昇。消費にまわる金がない。娯楽費が減っていると思う。
	レジャー施設	前回と同様に、燃料費の高騰や、原材料費の値上げによる、商品価格への転嫁等が発生しており、今後も懸念される。
レジャー施設	更なる物価、水道光熱費の高騰により、今後の生活に不安を抱えている人が多い。	
スーパー銭湯	温浴業界の近隣店舗では、一店舗が値上げをすると足並みをそろえ、周りの店舗が軒並み値上げを追従する流れが出来てきたおかげで、エネルギーコストの高騰分を少しでも価格転換出来た。飲食業界では値上げの足並みが揃わず、価格転換出来ない企業の嘆きの声を多く聞いた。価格転換の足並みをそろえさせる施策を行政で行っていただくとありがたい。	
ボウリング場	新型コロナウイルスが落ち着いたら、景気も良くなると思う。	
写真店	全ての物価が上がり、今後はかなり厳しくなりそうだ。	

企業	製造業(食料品)	地域経済の疲弊を色濃く感じる。
	製造業(印刷・同関連業)	人の動きが感じられ、景気も上向いているように感じるが、まだまだ新型コロナウイルスの終息が見えず不安を感じる。
	製造業(窯業・土石製品)	物価高により、買控えは続くと予想される。燃料費も高騰しており、収益を圧迫している。
	製造業(精密機器)	12月なのに飲み屋が暇そうだ。昼間の常磐線が空いている。
	製造業(精密機械器具)	現在、ある特殊電池メーカーから高スペックの特注品見積もり依頼があり、もし上手く受注出来れば当社比概算で5年分のオーダーとなる。
	建設業	新規の事業展開が顕著に感じる。
	運輸業(道路貨物運送業)	トラックの代替を検討したいが、車両の納期が1年前後と聞いているので、なかなか予定が立てられない。
	金融業	周辺商業地内での新たな店舗建設や新規出店等は少なく、富裕層をターゲットにした高層マンションの建築が進んでいる。
	不動産業	特に大きな変化は見られない。
	情報通信業(情報サービス業)	withコロナの意識が高まっていると思う。危機感は薄れてきている。
雇用	公共職業安定所	宿泊・飲食サービス業の数値が好調。最新の指標(令和4年10月分)で、新規求人数が前年同月比24.8%の増。10月に全国旅行支援が開始されたこと、入国規制が大幅に緩和されたことが大きな要因と思われる。
	学校就業関係者	職場においても、光熱費増の影響が大きく、省エネの取り組みを強化している。

(3) 鹿行地域

分野	業種・職種	コメント
家計	商店街代表者	11月に地元企業スーパーの複合商業施設の開店にともない、週末には車で溢れ、各店舗の賑わいが現在も続いている。また、共通券と専用券に分けたクーポン券の販売も完了し、来年の2月まで利用できるため、年末年始にかけて、地元企業の消費喚起と生活支援の一助になれることを期待している。
	スーパー	クリスマスケーキの予約数が、昨年を上回っている。他店舗でも同じ傾向である。
	衣料品販売店	食料品、光熱費等物価高で一般家庭は苦しくなってきた。今まで経済的に余裕がありそうな顧客も買控えている状況。
	家電販売店	近隣に商業施設がオープンし、集客が見られる小売店もある。購買意欲に変化があることはプラスと考えたい。
	小売業（菓子類）	ここ2、3年は、自粛していた忘年会や新年会をやるという話をよく耳にするようになった。
	小売業（薬品店）	感染拡大で風邪薬の売上げが伸びている。
	小売業（薬品店）	いろいろなものが値上がりしてきていると思う。
	小売業（食品）	同業者に聞いているが、良い答えは聞けない。ゼネコン関係の下請けは良さそうだ。
	小売業（書店）	やはり、食べる物やガソリン、電気代が上がると趣味から削られると実感する。
	洋食食堂	売上げは伸びているが、それを上回る食材の値上げが続いている。何をもちって景気が良いというのか難しいが、売上げの伸びより、食材の大幅な値上がりと人件費の上昇に頭を悩まされている。
	割烹料理店	物価の高騰で、人件費を上げろというが売上げも上がらないのに難しい。
	海鮮料理店	全ての業種が同じだと思うが、やっと良くなってきたと思ったら、値上げに対して収入が追いつかない。これから当店もメニュー等を考え、値上げをしなくては営業は難しいと思っている。
	観光型ホテル	新型コロナウイルスに対して、国全体の考えが風邪と同様という思考になってきているからか、良くも悪くも安定してきたように感じる。キャンセルの件数は減少している。
	運転代行	新型コロナウイルスも落ち着いたかと思っただが、まだまだ厳しい状況が続くそうだが、いつになったら景気が良くなるのか、不安な毎日である。
	タクシー運転手	戦争によって、物の上昇傾向が続いている以上、景気は回復しないと思う。給料も上げたいが、上げられないのが現状。余計に財布の紐が固くなる一方だ。
	ゴルフ場	行動制限は緩和されたものの、個人の消費などは、あまり変化が見られない。
	レジャー施設	政府の経済対策も効果がなく、県独自の更なる対策等を期待したい。
	理・美容店	値上がりに対して、買いだめするのと買控えるのと、どちらが得なのかと客が話していた。
	理・美容店	物価が上がっていて、生活に支障が出てきているという話を客などから聞くことがある。
	クリーニング店	ニュースでやっている値上げがだんだんと感じられるようになってきた。
住宅販売会社	スーパーに並んでいる物の価格が高くなり、物価が上がっている。	
企業	農業関係者	物価高の影響で、将来値上がりする物を事前に購入するようになってきている。
	製造業（その他）	ものの値段は上がっているが、スーパーなどへの客足は変わらない気がする。
	製造業（食料品）	コロナ禍からの脱却もあり、イベントなどの行事が行われるようになってきた。
	製造業（電気機械器具）	やや持ち直しているようにも思えるが、円安、物価高の影響はこれからではないかと不安に感じている。
	製造業（金属製品）	観光産業を始めとする産業が少しずつ上向きになっている。
	建設業	業界の動きは少しずつ改善方向にあるものの、今までにない物価上昇を実感している。政府の支援策がどこまで功を奏するのか。
	運輸業（道路貨物運送業）	周りの企業の賞与がコロナ禍初期に比べると、少しずつ戻ってきていると聞いている。
	不動産業	一部メーカー車庫、ガレージ等や一部サッシメーカーも令和5年1月1日より、値上げとのこと。
雇用	学校就業関係者	通勤経路で夜間、輸出用の大型重機が港に向かうのを、良く見かけるようになってきている。

(4) 県南地域

分野	業種・職種	コメント
家計	スーパー	野菜の相場が去年に比べて、安くなっている。
	スーパー	生活に関する様々なインフラが値上げとなっているため、日常生活において圧迫を感じる。
	家電販売店	駅周辺にマンション、当店近隣に大型商業施設が建ち、客の動きに若干変化があったようにも思える。
	農産物直売所	値下げ商品は以前より売れている。
	小売業	施設屋内のイベント等を再開後、客の反応は好意的。また行政やNPO団体のイベントもコロナ禍前に戻っている。3年ぶりに行動制限がない年末年始で、家族や知人の集まる巣ごもり需要は高まると感じる。引き続き土日祝日の夕方6時以降は、買物後早めに帰宅する傾向がある。そんな中でも飲食店舗は家族や少人数のグループ利用が復活し、年末年始の予約も上向き、外食は安定しつつある。
	小売業（生花店）	県南は圏央道近隣の開発や建物の建設が続いており、特に境古河インターより南の片側2車線工事も着手されてから、顕著になったように感じる。新規スマートインターの道路造成も始まっており、ますます県南集中が続くと思われる。不動産業者が県南を中心に急に増えてきており、茨城県央からも進出してきている。
	衣料品販売店	少し前に東北山形に2泊3日のグルメ旅に行ってきた。満足の旅だった。しかし、参加人数は14人。1日の補助金が一人3000円。こんなことをしていたら、日本が貧乏国になってしまう。
	小売業（米穀）	金利が上がるとの噂から、住宅ローンを変動金利から固定金利に変えたと言う人がいる。1%、2%でも上がると大変な負担増になるそうだ。
	和食食堂	大人数の食事・宴会が少ない。
	和食食堂	原材料の高騰により、価格に転嫁する必要が多くなっている。人材も少なくなり、獲得競争が激しい。社会全体として値上げとともに賃金上昇を受け入れる姿勢が見える。
	都市型ホテル	駅周辺ではマンションの建設が進み、また近郊でも戸建て住宅の建設も多く見られ、関連している業種は景気が良く思える。また、自動車業界も新車より中古車が車種によっては高額で取引され、こちらについても為替レートも大きく左右されていると思える。
	都市型ホテル	物価が高い→ガソリン、電気、ガス、生鮮食品等々。それなのに賃金は上らず貧困感を感じる。各家庭では節約、買控えなどで凌いでいるようだ。パチンコ店等も閑散としており店仕舞いをする店が出てきた。新型コロナウイルスの感染対策に於いても、行動制限がないとはいえ、所詮貧困なのだから景気が悪いと感じてしまう。
	タクシー運転手	節約傾向だったものが、消費傾向に変わってきている。余裕のある消費になってきている感じがする。
	タクシー会社	旅行者はどんどん増えていくのかではないかと思う。いば旅あんしん割のクーポンを使う人がたくさんいる。
	サービスエリア	旅行支援クーポン利用の問合せが何件か寄せられる。東京方面からの夕方以降のバスの立ち寄りが若干増えたようにも感じる。
	ゴルフ場	物価の上昇や円安。
ゴルフ場	サッカーが盛り上がっている。ベスト8はだめと思われたが、逆転して勝った。来場者も寝不足だと話しているが、嬉しそうだ。明るい話題が活力を生む。これが景気の向上に繋がっていくと願っている。予防、予防で外出しないのでは景気も落ちてしまうと思われる。	
住宅販売会社	不動産投資物件の融資について、銀行が将来の値上げを見越してシュミレーションするようになった。	

企業	農業関係者	スーパーなどで買物をよくするが、かごの中を覗いてみると、購入者ごとに大きな差があるようで、貧富の差というものを感じる事がある。個人的にも安価な商品へ手が伸びる事が多く、物価の高騰をひしひしと感じている今日この頃である。
	農業関係者	現在、いずれの分野においても言えることではあるが、特に農業資材の高騰が止まらない。
	製造業（窯業・土石製品）	根拠はないが、金のある人はかけこみ的な購買があるような気がする。
	製造業（飲料）	客に対して、新しい価値を創造すべく、新しい形態の商品を開発しているが、これがどこまで儲けに繋がるか、これからの動向を見ていく必要があると感じる。
	製造業（印刷・同関連業）	身近な小規模事業者から事業承継について、検討（廃業や事業譲渡等）しているとの声を聞くようになった。業績の不振や経営難といったことではなく、後継者を含め従業員の確保が大きな課題とのこと。小規模事業所・中小企業等の存続が難しい社会になってきているように感じる。
	製造業（その他）	値上げ交渉をしてもまだ応じてくれない会社があるため、仕事を断るしかない。
	製造業（窯業・土石製品）	食料品等の値上げ、内容量の減少等の実質値上げを感じるようになった。
	製造業（窯業・土石製品）	日用品の価格が上がってきているが、それが当たり前になっている。（驚きが薄くなっている）
	製造業（非鉄金属）	人員確保が困難。
	不動産業	建築リフォームが少なくなる予想。
	金融業	サービス業において、不可抗力的なコスト増加を挽回するために、従業員が今まで以上に接客の質を高め顧客サービス向上に努めることで、来店客を増やす等マンパワーによる企業努力が見られた。
	不動産業	市町村によっては、家賃相場が上昇している。
	雇用	求人開拓員

(5) 県西地域

分野	業種・職種	コメント
家計	商店街代表者	市内の一流料亭が2軒店を閉めた。葬儀の簡素化、新型コロナウイルスの影響など、社会の変革に対応できる仕組みを構築していかないと商店も生き残れないとつくづく思った。
	スーパー	相次ぐ値上げで、安くお得な商品を買上げる客が増えている。
	コンビニエンスストア	夕方の客数増、その分引けるのが早く20時以降減。
	コンビニエンスストア	値上げに伴い、安価な商品の販売が上昇傾向にある。
	家電販売店	新型コロナウイルスの第8波が来ているとはいえ、個人個人の新型コロナウイルスへの意識が下がり、今まで抑えていた旅行、レジャーなどへの需要は上がって、小売などへの需要は下がっている。
	自動車販売店	全体的に物価が上昇しているので、消費を抑える傾向が強く感じる。
	小売業（酒類）	新型コロナウイルスが始まって以来、初めて何も規制のない(今のところ)年末年始だ。コロナ禍前の高揚感みたいなものは全く感じられないわけで、このまま終わってしまうのかと思うと一抹の不安がよぎる。値上げの波も止まることなく、なんとなく財布の紐が固い。いつになったらこの閉塞感から抜け出せるのか、まったく分からない。
	レストラン	このコロナ禍の感染拡大と物価高のダブルパンチで、景気は悪くなっていくと思う。
	レストラン	私も行くが、割引がある日のスーパーはすごく混む。
	食堂	新型コロナウイルスによって、減ってしまった客の戻りが各飲食店によって、だいぶ格差があるように見える。全体の景気が戻っても、飲食店によっては経営がかなり苦しいのが続くのではないかと思える。
	和食レストラン	企業はいまだに人数の多い宴会はない。会社名を名乗らないで個人名で予約する。官庁、銀行は宴会をやっているのか。問合せが増えた。
	旅行代理店	冬に入るが、洋服を買いに行くよりも、食料品の購入と暖房費に家計を回すようになるかと話している方がたくさんいた。現在も値上げが毎日続いている。物価対策が最重要課題だ。観光業はこれから尚一層、大変な時期になるかと思われる。
	タクシー運転手	飲食業、料亭の店じまいが増えている。
	観光型ホテル	すべては新型コロナウイルスが要因で、これほどまでに悪くなってしまった。3～4月に入ってくると、体力的なことが重要であり、持続するだけで精一杯でそれさえも危ぶまれているのに、景気が良くなったと感じることができるとは思えない。努力が足りないと言われてしまうが、資金的に新しい改革を試みることさえできない。何をどう模索すればよいのか思案に暮れている。国も体力がなくなっているようなので、支援も期待できないからこの先が不安で仕方ない。
	商店街代表者	一次的なイベントによる盛り上がりはあるが、数年前のような安定的な状況はまだない。
	クリーニング店	特に変化は見られない。
設計事務所	物価上昇を注視しながらの設備投資の動きがある。	
企業	農業関係者	食品等の値上げが続いていることから、買控えの傾向が強く、景気が良いとは言えない。
	製造業（窯業・土石製品）	梱包資材業者によると、例年に比ベダンボールの受注数が落ちているとの事。大手通販サイト等と契約している業者は別だと思われるが、工場等をターゲットにしている業者は他社も減っているようだとこの事だ。
	製造業（金属製品）	前より良くなっていると思う。出かける人も増えたような気がする。
	製造業（化学工業）	サプライチェーンの各所で在庫過多状況となっており、製品、材料の両面にて生産の調整局面となる弱含みの傾向が強まっているように感じる。
	建設業	客の話を聞くと、世の中は不景気で困ったという人の話が多い。
	金融業	運送業においてトラックの納車が1年以上遅延、営業車においてもハイブリット車においては2年以上の遅延がみられ、減価償却が計画的に実施できないとの不安な声が聞かれる。
	不動産業	不動産投資で賃貸料を稼ぐ若者が、県外から不動産を探しにきている。ハウスメーカーが高級賃貸物件建築に積極的に取り組んでいる。
	サービス業（コンサルタント業）	大きな変化は見られない。
雇用	求人広告	多くの客は「売上げなど、現状を維持すること」に注力することを最優先に考える印象も多かったが、ここ数か月間で貯めていたパワーを放出する、一歩踏み出す、という動きをする方々が増えてきた印象である。
	人材派遣業	景気と関係ないかもしれないが、新型コロナウイルスが増えてきたため、定員より少し過剰に人員を確保し、一定の稼働を維持するための採用をかけている物流会社が増えている。
	学校就業関係者	県外からの求人企業数が多く、製造業などの人手不足が深刻な状況だと思われる。物価上昇で、生活必需品も買控えている（円安が進み、原油価格高騰が生活に大打撃）。
	求人開拓員	当所の求職相談者の状況をみていると、一定数だが内職希望者や60歳以上の高齢の方の相談も増えている。